

ISO7820x 高性能 8000V_{PK} 強化絶縁型デュアル チャネル デジタル アイソレータ

1 特長

- 信号速度: 最大 100Mbps
- 広い電源電圧範囲: 2.25V ~ 5.5V
- 2.25V から 5.5V への電圧変換
- 広い温度範囲: -55°C ~ 125°C
- 低い消費電力: 1Mbps のとき、チャンネルあたり 1.7mA (標準値)
- 小さい伝搬遅延時間: 標準値 11ns (5V 電源)
- 業界をリードする CMTI (最小値): $\pm 100\text{kV}/\mu\text{s}$
- 堅牢な電磁環境適合性 (EMC)
- システム レベルでの ESD、EFT、サージ耐性
- 低い放射
- 絶縁バリアの寿命: 25 年超
- SOIC-16 幅広 (DW) および超幅広 (DWW) パッケージ オプション
- 安全関連認証:
 - DIN EN IEC 60747-17 (VDE 0884-17)
 - UL 1577 部品認定プログラム
 - IEC 61010-1、IEC 62368-1、IEC 60601-1、GB 4943.1 認証

2 アプリケーション

- 産業用オートメーション
- モータ制御
- 電源
- ソーラー インバータ
- 医療機器
- ハイブリッド電気自動車 (HEV)

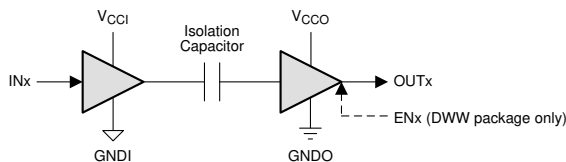
3 説明

ISO7820 は、8000V_{PK} の絶縁電圧を持つ高性能デュアル チャネル デジタル アイソレータです。このデバイスは、VDE、CSA、TUV、CQC に準拠した強化絶縁認証を取得しています。本アイソレータは、CMOS や LVCMOS のデジタル I/O を絶縁しながら、低消費電力で高い電磁気耐性と低い放射を実現します。それぞれの絶縁チャンネルにはロジック入力および出力バッファがあり、二酸化ケイ素 (SiO₂) の絶縁バリアによって分離されています。ISO7820 には、2 つの順方向チャンネルがあり、逆方向チャンネルはありません。入力電力または入力信号が失われた場合、デフォルト出力は ISO7820 デバイスでは「High」、ISO7820F デバイスでは「Low」です。このデバイスを絶縁型電源と組み合わせて使用すると、データ バスまたは他の回路上のノイズ電流がローカル グランドに入り込んでノイズに敏感な回路に干渉または損傷を与えることを防止できます。革新的なチップ設計およびレイアウト技法により、ISO7820 は電磁両立性が大幅に強化されているため、システム レベルの ESD、EFT、サージ、および放射のコンプライアンスを容易に達成できます。ISO7820 は、16 ピン SOIC ワイド ボディ (DW) および超ワイド ボディ (DWW) パッケージで供給されます。DWW パッケージ オプションにはイネーブル ピンがあり、対応する出力を高インピーダンスに移行して、マルチ コントローラ駆動アプリケーションや、消費電力の低減に使用できます。

パッケージ情報

部品番号	パッケージ ⁽¹⁾	本体サイズ (公称)	パッケージ サイズ ⁽²⁾
ISO7820、 ISO7820F	DW (SOIC、 16)	10.30mm × 7.50mm	10.30mm × 10.30mm
	DWW (超幅 広 SOIC、 16)	10.30mm × 14.0mm	10.30mm × 17.25mm

- (1) 利用可能なすべてのパッケージについては、データシートの末尾にある注文情報を参照してください。
- (2) パッケージ サイズ (長さ × 幅) は公称値であり、該当する場合はピンを含みます。



- A. VCCI および GNDI は、それぞれ入力チャンネルの電源およびグランド接続です。
- B. VCCO および GNDO は、それぞれ出力チャンネルの電源およびグランド接続です。

概略回路図



目次

1 特長	1	6 パラメータ測定情報	16
2 アプリケーション	1	7 詳細説明	18
3 説明	1	7.1 概要.....	18
4 ピン構成および機能	3	7.2 機能ブロック図.....	18
5 仕様	5	7.3 機能説明.....	19
5.1 絶対最大定格.....	5	7.4 デバイスの機能モード.....	20
5.2 ESD 定格.....	5	8 アプリケーションと実装	21
5.3 推奨動作条件.....	5	8.1 アプリケーション情報.....	21
5.4 熱に関する情報.....	6	8.2 代表的なアプリケーション.....	21
5.5 電力定格.....	6	8.3 電源に関する推奨事項.....	23
5.6 絶縁仕様.....	7	8.4 レイアウト.....	23
5.7 安全関連認証.....	8	9 デバイスおよびドキュメントのサポート	25
5.8 安全限界値.....	9	9.1 関連資料.....	25
5.9 電気的特性、5V.....	10	9.2 ドキュメントの更新通知を受け取る方法.....	25
5.10 電気的特性、3.3V.....	10	9.3 サポート・リソース.....	25
5.11 電気的特性、2.5V.....	12	9.4 商標.....	25
5.12 電力定格.....	12	9.5 静電気放電に関する注意事項.....	25
5.13 スイッチング特性、5V.....	13	9.6 用語集.....	25
5.14 スイッチング特性、3.3V.....	13	10 改訂履歴	25
5.15 スイッチング特性、2.5V.....	14	11 メカニカル、パッケージ、および注文情報	26
5.16 代表的特性.....	15		

4 ピン構成および機能

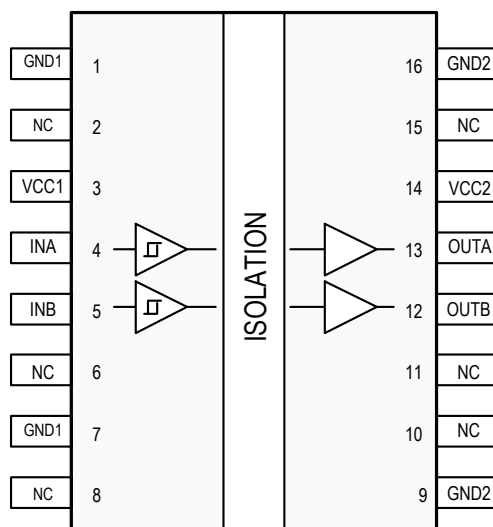


図 4-1. DW パッケージ 16 ピン (SOIC) 上面図

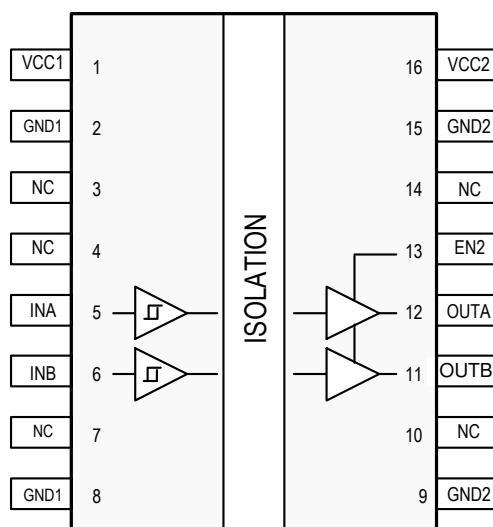


図 4-2. DWW パッケージ 16 ピン (SOIC) 上面図

表 4-1. ピンの機能

名称	ピン		種類 ⁽¹⁾	説明
	番号 DW	番号 DWW		
GND1	1、7	2、8	-	V _{CC1} のグラウンド接続
GND2	9、16	9、15	-	V _{CC2} のグラウンド接続
INA	4	5	I	入力、チャンネル A
INB	5	6	I	入力、チャンネル B
NC	2、6、8、10、11、15	4、7、10	-	未接続
OUTA	13	12	O	出力、チャンネル A
OUTB	12	11	O	出力、チャンネル B

表 4-1. ピンの機能 (続き)

ピン			種類 ⁽¹⁾	説明
名称	番号	番号		
	DW	DWW		
VCC1	3	1	-	電源、V _{CC1}
VCC2	14	16	-	電源、V _{CC2}
EN2	-	13	I	出力イネーブル 2。サイド 2 の出力ピンは、EN2 が HIGH またはオープン的时候可以にイネーブル、EN2 が LOW のときは高インピーダンス状態になります。

(1) I = 入力、O = 出力

5 仕様

5.1 絶対最大定格

(1)		最小値	最大値	単位
電源電圧 (2)	V_{CC1}, V_{CC2}	-0.5	6	V
電圧	INx, OUTx	-0.5	$V_{CC} + 0.5^{(3)}$	V
出力電流	I_O	-15	15	mA
サージ耐性			12.8	kV
保管温度、 T_{stg}		-65	150	°C

- (1) 「絶対最大定格」の範囲外の動作は、デバイスの永続的な損傷の原因となる可能性があります。「絶対最大定格」は、これらの条件において、または「推奨動作条件」に示された値を超える他のいかなる条件でも、本製品が正しく動作することを暗に示すものではありません。「絶対最大定格」の範囲内であっても「推奨動作条件」の範囲外で使用了場合、本デバイスは完全に機能するとは限らず、このことが本デバイスの信頼性、機能、性能に影響を及ぼし、本デバイスの寿命を縮める可能性があります。
- (2) 差動 I/O バス電圧を除くすべての電圧値は、ローカル グランド端子 (GND1 または GND2) を基準としており、ピーク電圧値です。
- (3) 最大電圧は 6V 以下である必要があります。

5.2 ESD 定格

		値	単位
V_{ESD}	人体モデル (HBM)、ANSI/ESDA/JEDEC JS-001 準拠、すべてのピン (1)	±6000	V
	デバイス帯電モデル (CDM)、JEDEC 仕様 JESD22-C101 に準拠、すべてのピン (2)	±1500	V

- (1) JEDEC ドキュメント JEP155 には、500V HBM であれば標準的な ESD 管理プロセスにより安全な製造が可能であると記載されています。
- (2) JEDEC ドキュメント JEP157 には、250V CDM であれば標準的な ESD 管理プロセスにより安全な製造が可能であると記載されています。

5.3 推奨動作条件

		最小値	標準値	最大値	単位
V_{CC1}, V_{CC2}	電源電圧	2.25		5.5	V
I_{OH}	High レベル出力電流	$V_{CCO}^{(2)} = 5V$	-4		mA
		$V_{CCO} = 3.3V$	-2		
		$V_{CCO} = 2.5V$	-1		
I_{OL}	Low レベル出力電流	$V_{CCO} = 5V$		4	mA
		$V_{CCO} = 3.3V$		2	
		$V_{CCO} = 2.5V$		1	
V_{IH}	High レベル入力電圧	$0.7 \times V_{CCI}^{(2)}$		V_{CCI}	V
V_{IL}	Low レベル入力電圧	0		$0.3 \times V_{CCI}$	V
DR	信号速度	0		100	Mbps
T_J	接合部温度 (1)	-55		150	°C
T_A	周囲温度	-55	25	125	°C

- (1) T_J の推奨動作条件を維持するには、「セクション 5.4」の表を参照してください。
- (2) V_{CCI} = 入力側 V_{CC} 、 V_{CCO} = 出力側 V_{CC} 。

5.4 熱に関する情報

熱評価基準 ⁽¹⁾		ISO7820		単位
		DW (SOIC)	DWW (SOIC)	
		16 ピン	16-PINS	
$R_{\theta JA}$	接合部から周囲への熱抵抗	84.7	84.7	°C/W
$R_{\theta JC(top)}$	接合部からケース (上面) への熱抵抗	47.3	46.0	°C/W
$R_{\theta JB}$	接合部から基板への熱抵抗	49.4	54.5	°C/W
Ψ_{JT}	接合部から上面への特性パラメータ	19.1	18.5	°C/W
Ψ_{JB}	接合部から基板への特性パラメータ	48.8	53.8	°C/W
$R_{\theta JC(bottom)}$	接合部からケース (底面) への熱抵抗	該当なし	該当なし	°C/W

(1) 従来および最新の熱評価基準の詳細については、『[半導体および IC パッケージの熱評価基準](#)』アプリケーション ノートを参照してください。

5.5 電力定格

			値	単位
P_D	最大消費電力 (ISO7820)	$V_{CC1} = V_{CC2} = 5.5V$ 、 $T_J = 150^{\circ}C$ 、 $C_L = 15pF$ 、50MHz 50% デューティ サイクルの方 形波を入力	100	mW
P_{D1}	最大消費電力 (ISO7820x のサイド 1)		20	
P_{D2}	最大消費電力 (ISO7820x のサイド 2)		80	

5.6 絶縁仕様

パラメータ	テスト条件	仕様		単位
		DW	DWW	
CLR 外部空間距離 ⁽¹⁾	空気を介した最短のピン間距離	>8	>14.5	mm
	空気を介した最短のピン間距離 (標準値)		15.0	mm
CPG 外部沿面距離 ⁽¹⁾	パッケージ表面に沿った最短のピン間距離	>8	>14.5	mm
	パッケージ表面に沿った最短のピン間距離 (標準値)		15.0	mm
DTI 絶縁物を介した距離	最小内部ギャップ (内部空間距離)	>21	>21	μm
CTI 比較トラッキング インデックス	DIN EN 60112 (VDE 0303-11)、IEC 60112、UL 746A	>600	>600	V
材料グループ		I	I	
IEC 60664-1 に準拠した過電圧カテゴリ	定格商用電源 V_{RMS} が 600V 以下	I–IV	I–IV	
	定格商用電源 V_{RMS} が 1000V 以下	I–III	I–IV	
DIN EN IEC 60747-17 (VDE 0884-17) ⁽²⁾				
V_{IORM} 最大反復ピーク絶縁電圧		2121	2828	V_{PK}
V_{IOWM} 最大絶縁動作電圧	AC 電圧 (正弦波)、絶縁膜経時破壊 (TDDb) テスト	1500	2000	V_{RMS}
	DC 電圧	2121	2828	V_{DC}
V_{IOTM} 最大過渡絶縁電圧	$V_{TEST} = V_{IOTM}$, $t = 60s$ (認定)、 $V_{TEST} = 1.2 \times V_{IOTM}$, $t = 1s$ (100% 出荷時テスト)	8000	8000	V_{PK}
V_{IMP} 最大インパルス電圧 ⁽³⁾	IEC 62368-1 に準拠し気中でテスト、1.2/50μs の波形	9800	9800	V_{PK}
V_{IOSM} 最大サージ絶縁電圧 ⁽⁴⁾	$V_{IOSM} \geq 1.3 \times V_{IMP}$ 、油中でテスト (認定)、1.2/50μs 波形、IEC 62368-1 に準拠	12800	12800	V_{PK}
q_{pd} 見掛けの電荷 ⁽⁵⁾	方法 a: I/O 安全テスト サブグループ 2/3 の後、 $V_{ini} = V_{IOTM}$, $t_{ini} = 60s$ 、 $V_{pd(m)} = 1.2 \times V_{IOTM} = 2545V_{PK}$ (DW) および $3394V_{PK}$ (DWW), $t_m = 10s$	≤ 5	≤ 5	pC
	方法 a: 環境テスト サブグループ 1 の後、 $V_{ini} = V_{IOTM}$, $t_{ini} = 60s$ 、 $V_{pd(m)} = 1.6 \times V_{IORM} = 3394V_{PK}$ (DW) および $4525V_{PK}$ (DWW), $t_m = 10s$	≤ 5	≤ 5	
	メソッド b: ルーチン テスト時 (100% 出荷時テスト) $V_{ini} = 1.2 \times V_{IOTM}$, $t_{ini} = 1s$ 、 $V_{pd(m)} = 1.875 \times V_{IORM}$, $t_m = 1s$ (メソッド b1) または $V_{pd(m)} = V_{ini}$, $t_m = t_{ini}$ (メソッド b2)	≤ 5	≤ 5	
C_{IO} 絶縁バリア容量、入力から出力へ ⁽⁶⁾	$V_{IO} = 0.4 \times \sin(2\pi ft)$, $f = 1MHz$	2	2	pF
R_{IO} 絶縁抵抗、入力から出力へ ⁽⁶⁾	$V_{IO} = 500V$, $T_A = 25^\circ C$	$>10^{12}$	$>10^{12}$	Ω
	$V_{IO} = 500V$ ($100^\circ C \leq T_A \leq 125^\circ C$ 時)	$>10^{11}$	$>10^{11}$	
	$V_{IO} = 500V$ ($T_S = 150^\circ C$ 時)	$>10^9$	$>10^9$	
汚染度		2	2	
耐候性カテゴリ		55/125/21	55/125/21	
UL 1577				
V_{ISO} 絶縁耐圧	$V_{TEST} = V_{ISO} = 5700V_{RMS}$, $t = 60s$ (認定)、 $V_{TEST} = 1.2 \times V_{ISO} = 6840V_{RMS}$, $t = 1s$ (100% 出荷時テスト)	5700	5700	V_{RMS}

- (1) 沿面距離および空間距離の要件は、アプリケーション個別の機器絶縁規格に従って適用する必要があります。沿面距離および空間距離を維持するために、プリント基板上でアイソレータの取り付けパッドによってこの距離が短くならないように注意して基板を設計する必要があります。場合によっては、プリント基板上の沿面距離と空間距離が等しくなります。プリント基板上に溝やリブを設けるという技法を使用して、これらの仕様値を大きくすることができます。
- (2) この絶縁素子は、安全定格内の安全な電氣的絶縁のみに適しています。安全定格への準拠は、適切な保護回路によって保証する必要があります。
- (3) テストは、パッケージのサージ耐性を判定するため、空気中で実行されます。
- (4) テストは、絶縁バリアの固有サージ耐性を判定するため、油中で実行されます。
- (5) 見掛けの放電電荷とは、部分放電 (pd) により発生する放電です。
- (6) 絶縁バリアのそれぞれの側にあるすべてのピンを互いに接続して、2 つの端子を持つデバイスを構成します。

5.7 安全関連認証

VDE	CSA	UL	CQC	TUV
DIN EN IEC 60747-17 (VDE 0884-17) による認 証	IEC 62368-1 および IEC 60601-1 による認証	UL 1577 部品認定プログ ラムによる認証	GB 4943.1 に従う認証	EN 61010-1 および EN 62368-1 による認証
認証書番号:40040142	マスタ契約書番号:220991	ファイル番号:E181974	認証書番号: CQC15001121716	顧客 ID 番号:77311

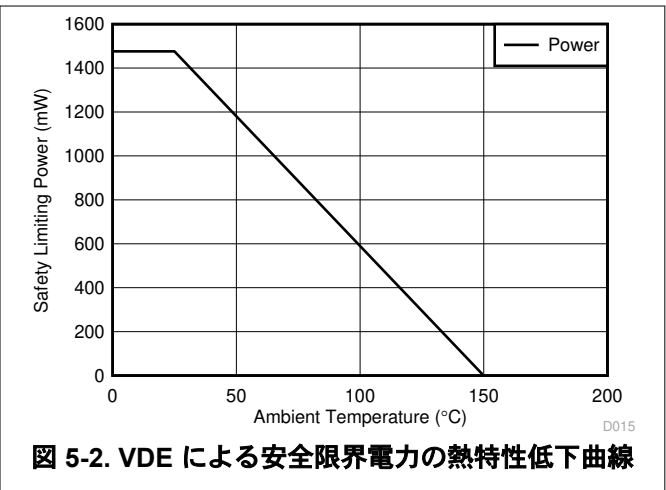
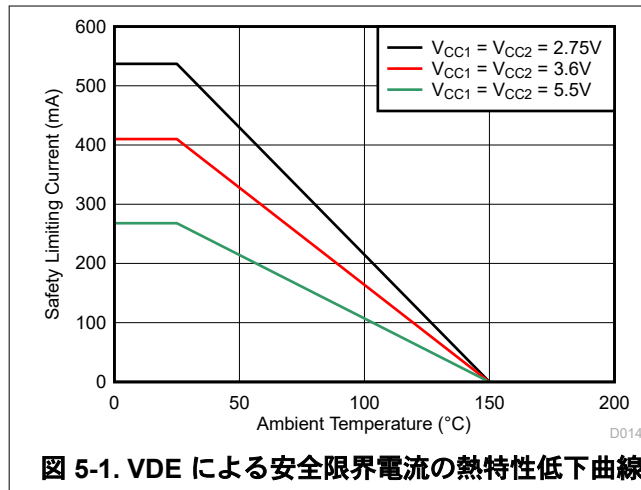
5.8 安全限界値

安全限界値の目的は、入力または出力回路の故障による絶縁バリアの損傷の可能性を防止することです。I/O 回路の故障により、グランドあるいは電源との抵抗が低くなることがあります。電流制限がないと、チップがオーバーヒートして絶縁バリアが破壊されるほどの大電力が消費され、ひいてはシステムの 2 次故障に到る可能性があります。

表 5-1. 安全限界値

パラメータ		テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
I _S	DW-16 パッケージおよび DWW-16 パッケージの安全入 力、出力、または電源電流	R _{θJA} = 84.7°C/W、V _I = 5.5V、T _J = 150°C、T _A = 25°C	268			mA
		R _{θJA} = 84.7°C/W、V _I = 3.6V、T _J = 150°C、T _A = 25°C	410			
		R _{θJA} = 84.7°C/W、V _I = 2.75V、T _J = 150°C、T _A = 25°C	537			
P _S	安全入力、出力、または合計電 力	R _{θJA} = 84.7°C/W、T _J = 150°C、T _A = 25°C	1476			mW
T _S	最高安全温度		150			°C

最大安全温度はデバイスに指定された最大接合部温度です。接合部の温度は、アプリケーション ハードウェアに搭載されているデバイスの消費電力、および接合部から空気への熱抵抗により決定されます。「熱に関する情報」セクションで前提とされている接合部から空気への熱抵抗は、リード付き表面実装パッケージ向けの High-K テスト基板に実装されたデバイスの数値です。電力は、推奨最大入力電圧と電流との積です。この場合の接合部温度は、接合部から空気への熱抵抗と電力との積に周囲温度を加えたものです。



5.9 電気的特性、5V

$V_{CC1} = V_{CC2} = 5V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ	テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
V_{OH} High レベル出力電圧	$I_{OH} = -4mA$, 図 6-1 を参照	$V_{CC2} - 0.4$	$V_{CC2} - 0.2$		V
V_{OL} Low レベル出力電圧	$I_{OL} = 4mA$, 図 6-1 を参照		0.2	0.4	V
$V_{I(HYS)}$ 入力スレッショルド電圧のヒステリシス		$0.1 \times V_{CC2}$			V
I_{IH} High レベル入力電流	INx で $V_{IH} = V_{CC1}$			10	μA
I_{IL} Low レベル入力電流	INx で $V_{IL} = 0V$	-10			
CMTI 同相過渡耐性	$V_I = V_{CC1}$ または $0V$, 図 6-4 を参照	100			kV/ μs
I_{CC1} 電源電流、ディセーブル (ISO7820DWW および ISO7820FDWW のみ)	$EN2 = 0V$, $V_I = 0V$ (ISO7820FDWW), $V_I = V_{CC1}$ (ISO7820DWW)		0.8	1.3	mA
I_{CC2}			0.2	0.4	
I_{CC1} 電源電流、ディセーブル (ISO7820DWW および ISO7820FDWW のみ)	$EN2 = 0V$, $V_I = V_{CC1}$ (ISO7820FDWW), $V_I = 0V$ (ISO7820DWW)		3.2	4.6	mA
I_{CC2}			0.2	0.4	
I_{CC1} 電源電流、DC 信号	$V_I = 0V$ (ISO7820F), $V_I = V_{CC1}$ (ISO7820)		0.9	1.3	mA
I_{CC2}			1.2	1.8	
I_{CC1} 電源電流、DC 信号	$V_I = V_{CC1}$ (ISO7820F), $V_I = 0V$ (ISO7820)		3.2	4.6	mA
I_{CC2}			1.3	2	
I_{CC1} 電源電流	1Mbps	AC 信号: すべてのチャネルが方形波クロック入力でスイッチング、 $C_L = 15pF$	2.1	3	mA
I_{CC2}			1.3	2	
I_{CC1} 電源電流	10Mbps		2.1	3	mA
I_{CC2}			2.3	3.8	
I_{CC1} 電源電流	100Mbps		2.7	3.3	mA
I_{CC2}			11.9	15.3	

5.10 電気的特性、3.3V

$V_{CC1} = V_{CC2} = 3.3V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ	テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
V_{OH} High レベル出力電圧	$I_{OH} = -2mA$, 図 6-1 を参照	$V_{CC2} - 0.4$	$V_{CC2} - 0.2$		V
V_{OL} Low レベル出力電圧	$I_{OL} = 2mA$, 図 6-1 を参照		0.2	0.4	V
$V_{I(HYS)}$ 入力スレッショルド電圧のヒステリシス		$0.1 \times V_{CC2}$			V
I_{IH} High レベル入力電流	INx で $V_{IH} = V_{CC1}$			10	μA
I_{IL} Low レベル入力電流	INx で $V_{IL} = 0V$	-10			
CMTI 同相過渡耐性	$V_I = V_{CC1}$ または $0V$, 図 6-4 を参照	100			kV/ μs
I_{CC1} 電源電流、ディセーブル (ISO7820DWW および ISO7820FDWW のみ)	$EN2 = 0V$, $V_I = 0V$ (ISO7820FDWW), $V_I = V_{CC1}$ (ISO7820DWW)		0.8	1.3	mA
I_{CC2}			0.2	0.4	
I_{CC1} 電源電流、ディセーブル (ISO7820DWW および ISO7820FDWW のみ)	$EN2 = 0V$, $V_I = V_{CC1}$ (ISO7820FDWW), $V_I = 0V$ (ISO7820DWW)		3.2	4.6	mA
I_{CC2}			0.2	0.4	
I_{CC1} 電源電流、DC 信号	$V_I = 0V$ (ISO7820F), $V_I = V_{CC1}$ (ISO7820)		0.9	1.3	mA
I_{CC2}			1.2	1.8	
I_{CC1} 電源電流、DC 信号	$V_I = V_{CC1}$ (ISO7820F), $V_I = 0V$ (ISO7820)		3.2	4.6	mA
I_{CC2}			1.3	2	

$V_{CC1} = V_{CC2} = 3.3V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ			テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
I _{CC1}	電源電流	1Mbps	AC 信号:すべてのチャネルが方形波クロック入力でスイッチング、 C _L = 15pF		2.1	3	mA
I _{CC2}					1.3	2	
I _{CC1}	電源電流	10Mbps			2.1	3	mA
I _{CC2}					2.3	3.8	
I _{CC1}	電源電流	100Mbps			2.5	3.2	mA
I _{CC2}					8.9	11.5	

5.11 電気的特性、2.5V

$V_{CC1} = V_{CC2} = 2.5V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ		テスト条件		最小値	標準値	最大値	単位	
V _{OH}	High レベル出力電圧	I _{OH} = -1mA、 図 6-1 を参照		V _{CC2} - 0.4	V _{CC2} - 0.2		V	
V _{OL}	Low レベル出力電圧	I _{OL} = 1mA、 図 6-1 を参照			0.2	0.4	V	
V _{I(HYS)}	入力スレッショルド電圧のヒステリシス			0.1 x V _{CC2}			V	
I _{IH}	High レベル入力電流	INx で V _{IH} = V _{CC1}				10	μA	
I _{IL}	Low レベル入力電流	INx で V _{IL} = 0V		-10				
CMTI	同相過渡耐性	V _I = V _{CC1} または 0V、 図 6-4 を参照		100			kV/μs	
I _{CC1}	電源電流、ディセーブル (ISO7820DWW および ISO7820FDWW のみ)	EN2 = 0V、V _I = 0V (ISO7820FDWW)、V _I = V _{CC1} (ISO7820DWW)			0.8	1.3	mA	
I _{CC2}					0.2	0.4		
I _{CC1}	電源電流、ディセーブル (ISO7820DWW および ISO7820FDWW のみ)	EN2 = 0V、V _I = V _{CC1} (ISO7820FDWW)、V _I = 0V (ISO7820DWW)			3.2	4.6	mA	
I _{CC2}					0.2	0.4		
I _{CC1}	電源電流、DC 信号	V _I = 0V (ISO7820F)、V _I = V _{CC1} (ISO7820)			0.9	1.3	mA	
I _{CC2}					1.2	1.8		
I _{CC1}	電源電流、DC 信号	V _I = V _{CC1} (ISO7820F)、V _I = 0V (ISO7820)			3.2	4.6	mA	
I _{CC2}					1.3	2		
I _{CC1}	電源電流	1Mbps	AC 信号: すべてのチャネルが方形波クロック入力でスイッチング、C _L = 15pF		2.1	3	mA	
I _{CC2}					1.3	2		
I _{CC1}	電源電流	10Mbps			2.1	3	mA	
I _{CC2}					1.8	2.7		
I _{CC1}	電源電流	100Mbps			2.4	3.2	mA	
I _{CC2}					7	9.1		

5.12 電力定格

表 5-2. IEC 60664-1 定格表

パラメータ		テスト条件	仕様
材料グループ			I
過電圧カテゴリ/設置分類	DW パッケージ	定格商用電源 V_{RMS} が 600V 以下	I–IV
		定格商用電源 V_{RMS} が 1000V 以下	I–III
	DWW パッケージ	定格商用電源 V_{RMS} が 1000V 以下	I–IV

5.13 スイッチング特性、5V

$V_{CC1} = V_{CC2} = 5V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ		テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
t_{PLH}, t_{PHL}	伝搬遅延時間	図 6-1 を参照	6	10.7	16	ns
$PWD^{(1)}$	パルス幅歪み $ t_{PHL} - t_{PLH} $			0.6	4.6	
$t_{sk(o)}^{(2)}$	チャネル間の出力スキュー時間				2.5	ns
$t_{sk(pp)}^{(3)}$	部品間のスキュー時間				4.5	ns
t_r	出力信号の立ち上がり時間	図 6-1 を参照		2.4	3.9	ns
t_f	出力信号の立ち下がり時間			2.4	3.9	
t_{PHZ}	ディセーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW および ISO7820FDWW)	図 6-2 を参照		12	20	ns
t_{PLZ}	ディセーブル伝搬遅延、低インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW および ISO7820FDWW)			12	20	ns
t_{PZH}	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW)			10	20	ns
	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820FDWW)			2	2.5	μs
t_{PZL}	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 Low へ (ISO7820DWW)			2	2.5	μs
	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 Low へ (ISO7820FDWW)			10	20	ns
t_{fs}	入力電源喪失からデフォルト出力までの遅延時間	V_{CC} が 1.7V を下回った時点から測定。図 6-3 参照。		0.2	9	μs
t_{ie}	タイム インターバル エラー	100Mbps で $2^{16} - 1$ PRBS データ		1		ns

(1) 別名パルス スキュー。

(2) $t_{sk(o)}$ は、1 つのデバイスについて、すべての駆動入力を相互に接続し、同方向に出力をスイッチングし、同じ負荷を駆動するときの複数の出力間のスキューです。

(3) $t_{sk(pp)}$ は、同一の電源電圧、温度、入力信号、負荷で動作する異なるデバイスについて、同方向にスイッチングするときの任意の端子間での伝搬遅延時間の差です。

5.14 スイッチング特性、3.3V

$V_{CC1} = V_{CC2} = 3.3V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ		テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
t_{PLH}, t_{PHL}	伝搬遅延時間	図 6-1 を参照	6	10.8	16	ns
$PWD^{(1)}$	パルス幅歪み $ t_{PHL} - t_{PLH} $			0.7	4.7	
$t_{sk(o)}^{(2)}$	チャネル間の出力スキュー時間				2.2	ns
$t_{sk(pp)}^{(3)}$	部品間のスキュー時間				4.5	
t_r	出力信号の立ち上がり時間	図 6-1 を参照		1.3	3	ns
t_f	出力信号の立ち下がり時間			1.3	3	
t_{PHZ}	ディセーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW および ISO7820FDWW)	図 6-2 を参照		17	32	ns
t_{PLZ}	ディセーブル伝搬遅延、低インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW および ISO7820FDWW)			17	32	ns
t_{PZH}	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW)			17	32	ns
	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820FDWW)			2	2.5	μs
t_{PZL}	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 Low へ (ISO7820DWW)			2	2.5	μs
	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 Low へ (ISO7820FDWW)			17	32	ns
t_{fs}	入力電源喪失からデフォルト出力までの遅延時間	V_{CC} が 1.7V を下回った時点から測定。図 6-3 参照。		0.2	9	μs

$V_{CC1} = V_{CC2} = 3.3V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ		テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
t_{ie}	タイム インターバル エラー	100Mbps で $2^{16} - 1$ PRBS データ	1			ns

- (1) 別名パルス スキュー。
- (2) $t_{sk(o)}$ は、1 つのデバイスについて、すべての駆動入力を相互に接続し、同方向に出力をスイッチングし、同じ負荷を駆動するときの複数の出力間のスキューです。
- (3) $t_{sk(pp)}$ は、同一の電源電圧、温度、入力信号、負荷で動作する異なるデバイスについて、同方向にスイッチングするときの任意の端子間での伝搬遅延時間の差です。

5.15 スwitchング特性、2.5V

 $V_{CC1} = V_{CC2} = 2.5V \pm 10\%$ (特に記述のない限り、推奨動作条件全体にわたって)

パラメータ		テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
t _{PLH} 、t _{PHL}	伝搬遅延時間	図 6-1 を参照	7.5	11.7	17.5	ns
PWD ⁽¹⁾	パルス幅歪み t _{PHL} - t _{PLH}		0.7	4.7		
t _{sk(o)} ⁽²⁾	チャネル間の出力スキュー時間				2.2	ns
t _{sk(pp)} ⁽³⁾	部品間のスキュー時間				4.5	ns
t _r	出力信号の立ち上がり時間	図 6-1 を参照	1.8	3.5		
t _f	出力信号の立ち下がり時間		1.8	3.5		
t _{PHZ}	ディセーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW および ISO7820FDWW)	図 6-2 を参照	22	45	ns	
t _{PLZ}	ディセーブル伝搬遅延、低インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW および ISO7820FDWW)		22	45	ns	
t _{PZH}	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820DWW)		18	45	ns	
	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 High へ (ISO7820FDWW)		2	2.5	μs	
t _{PZL}	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 Low へ (ISO7820DWW)		2	2.5	μs	
	イネーブル伝搬遅延、高インピーダンスから出力 Low へ (ISO7820FDWW)		18	45	ns	
t _{fs}	入力電源喪失からデフォルト出力までの遅延時間	V _{CC} が 1.7V を下回った時点から測定。図 6-3 参照。	0.2	9	μs	
t _{ie}	タイム インターバル エラー	100Mbps で 2 ¹⁶ - 1 PRBS データ	1		ns	

- (1) 別名パルス スキュー。
- (2) $t_{sk(o)}$ は、1 つのデバイスについて、すべての駆動入力を相互に接続し、同方向に出力をスイッチングし、同じ負荷を駆動するときの複数の出力間のスキューです。
- (3) $t_{sk(pp)}$ は、同一の電源電圧、温度、入力信号、負荷で動作する異なるデバイスについて、同方向にスイッチングするときの任意の端子間での伝搬遅延時間の差です。

5.16 代表的特性

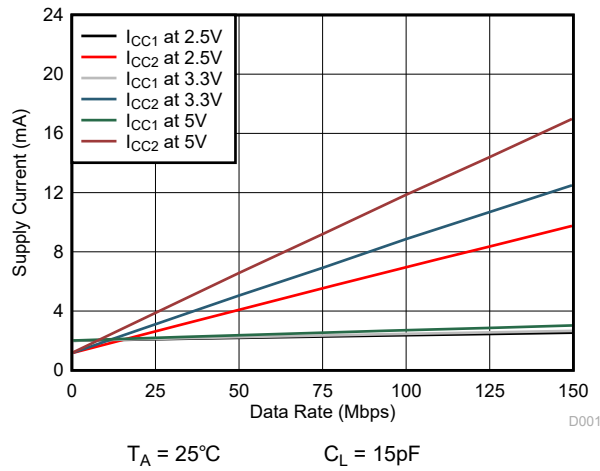


図 5-3. 電源電流とデータ レートとの関係 (15pF 負荷時)

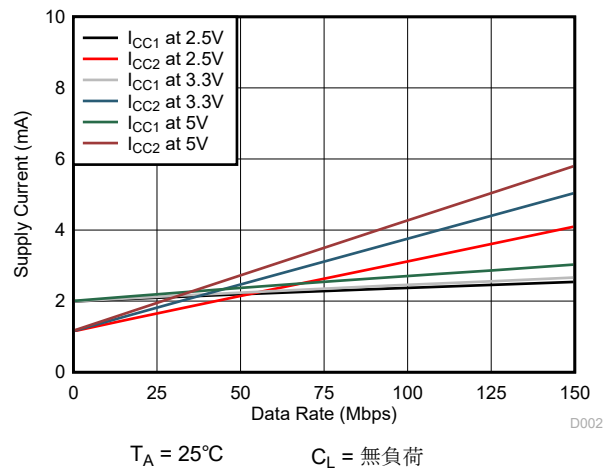


図 5-4. 電源電流とデータ レートとの関係 (無負荷時)

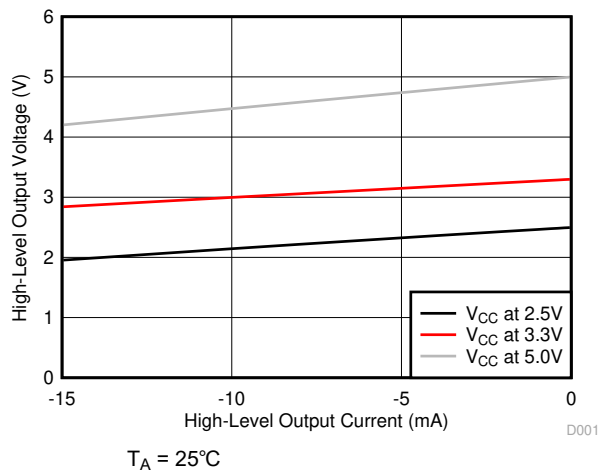


図 5-5. High レベル出力電圧と High レベル出力電流との関係

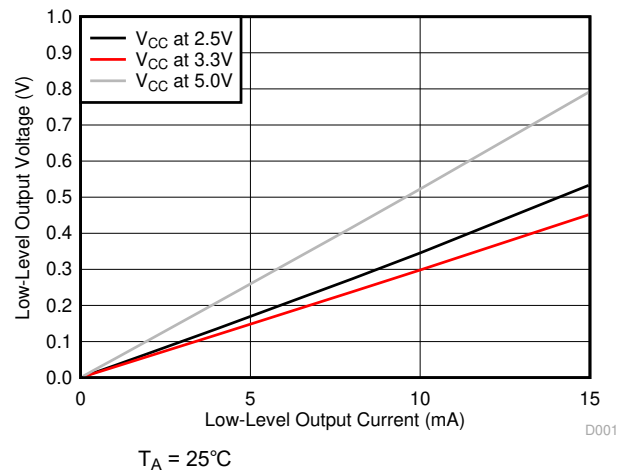


図 5-6. Low レベル出力電圧と Low レベル出力電流との関係

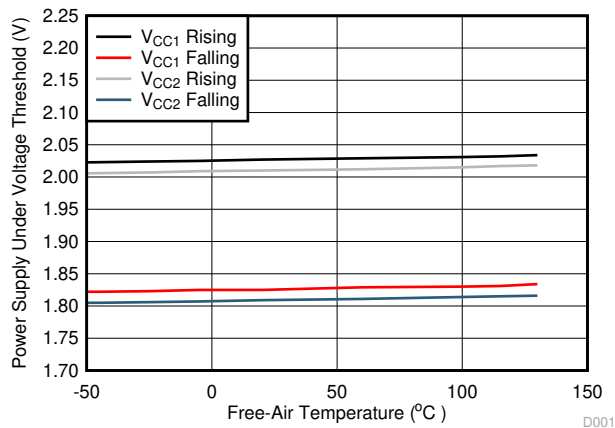


図 5-7. 電源低電圧スレッシュホールドと周囲温度との関係

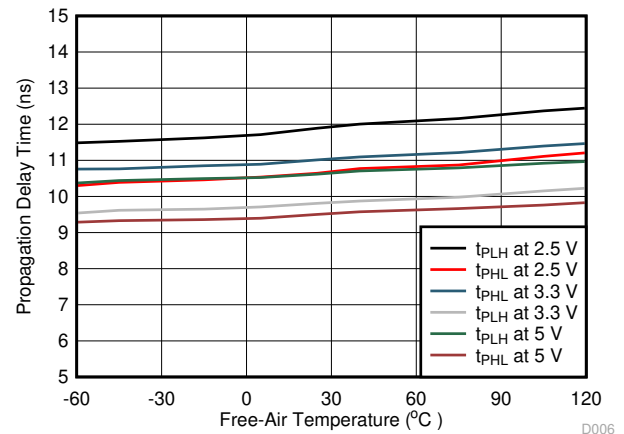
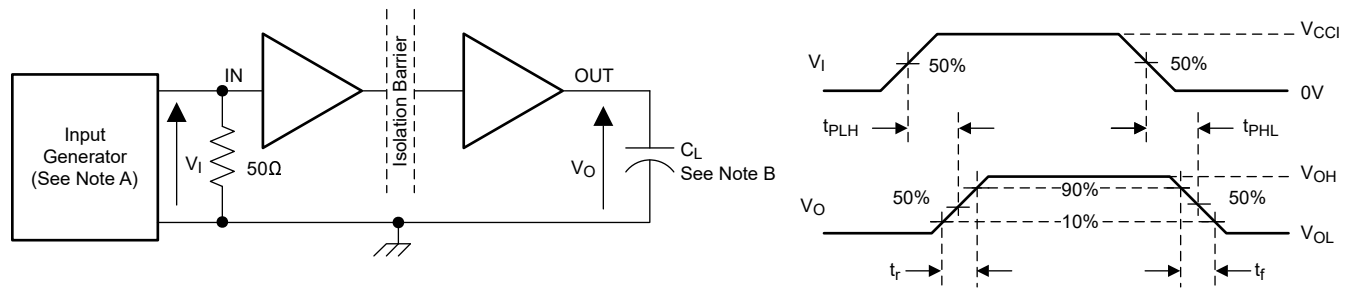


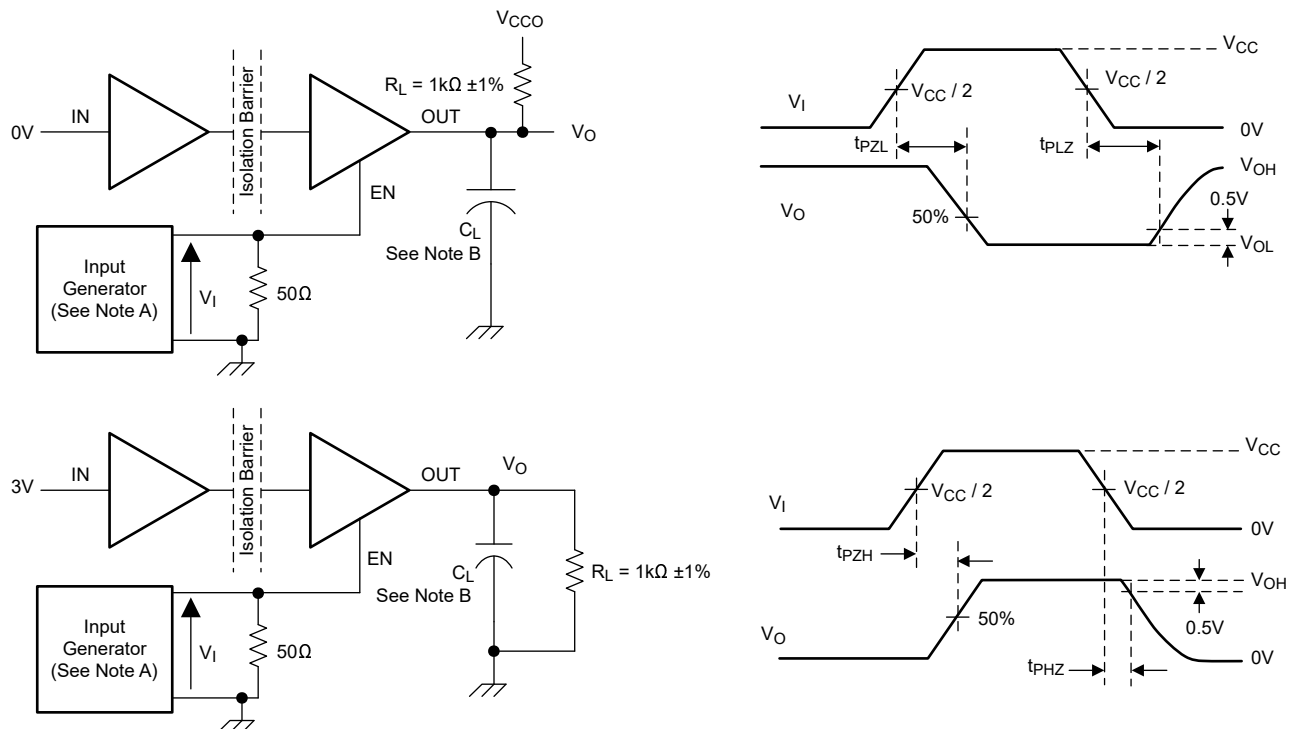
図 5-8. 伝搬遅延時間と周囲温度との関係

6 パラメータ測定情報



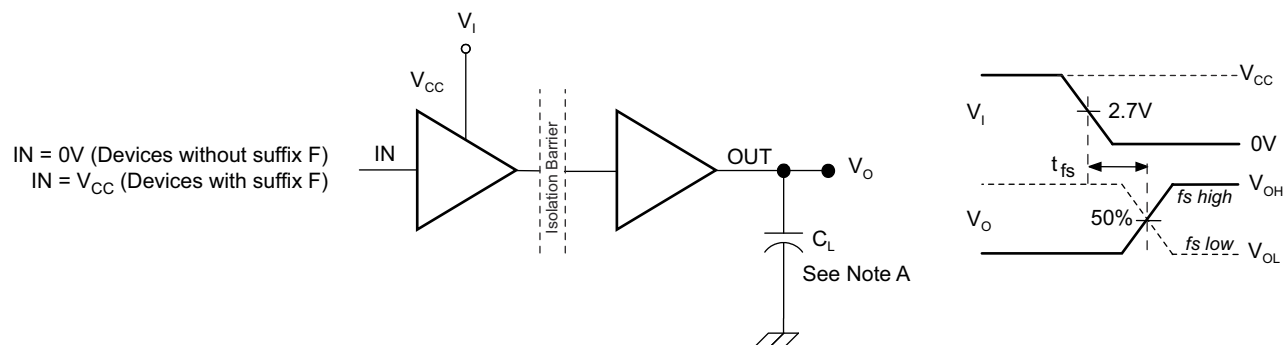
- A. 入力パルスは、以下の特性を持つジェネレータから供給されます。PRR $\leq 50\text{kHz}$ 、50% デューティ サイクル、 $t_r \leq 3\text{ns}$ 、 $t_f \leq 3\text{ns}$ 、 $Z_O = 50\Omega$ 。入力ジェネレータ信号を終端するため、入力に 50Ω の抵抗が必要です。実際のアプリケーションでは、この 50Ω 抵抗は不要です。
- B. $C_L = 15\text{pF}$ であり、 $\pm 20\%$ 以内の計測器および治具の容量が含まれています。

図 6-1. スwitching特性試験回路と電圧波形



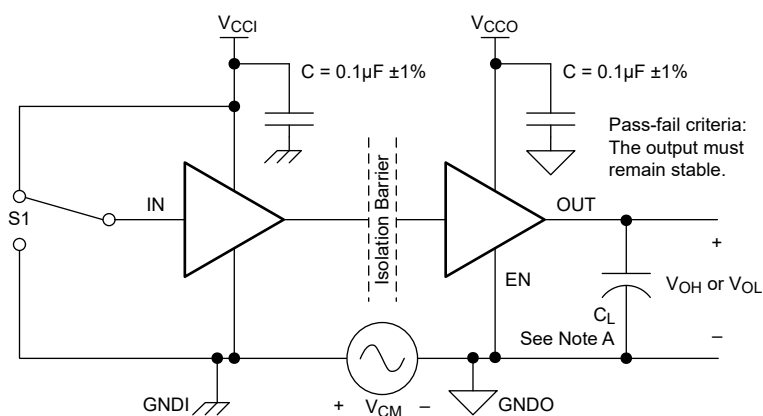
- A. 入力パルスは、以下の特性を持つジェネレータから供給されます。PRR $\leq 10\text{kHz}$ 、50% デューティ サイクル、 $t_r \leq 3\text{ns}$ 、 $t_f \leq 3\text{ns}$ 、 $Z_O = 50\Omega$ 。
- B. $C_L = 15\text{pF}$ であり、 $\pm 20\%$ 以内の計測器および治具の容量が含まれています。

図 6-2. イネーブル / ディセーブル伝搬遅延時間のテスト回路と波形



A. C_L = 15pF であり、±20% 以内の計測器および治具の容量が含まれています。

図 6-3. デフォルトの出力遅延時間テスト回路と電圧波形



A. C_L = 15pF であり、±20% 以内の計測器および治具の容量が含まれています。

図 6-4. 同相過渡電圧耐性試験回路

7 詳細説明

7.1 概要

ISO7820 は、オン オフ キーイング (OOK) 変調方式を採用し、二酸化ケイ素をベースとする絶縁バリアを介してデジタルデータを送信します。トランスミッタは、バリアを介して高周波キャリアを送信することによって、1 つのデジタル状態を表しています。また、信号を送信しないことによって、もう 1 つのデジタル状態を表しています。レシーバは、高度な信号コンデューションを行ってから信号を復調し、バッファ段経由で出力を生成します。これらのデバイスには高度な回路技法も使用されており、CMTI 性能を最大化し、高周波キャリアと IO バッファのスイッチングによる放射ノイズを最小化しています。デジタル容量性アイソレータの概念ブロック図である [図 7-1](#) は、代表的なチャンネルの機能ブロック図を示しています。

7.2 機能ブロック図

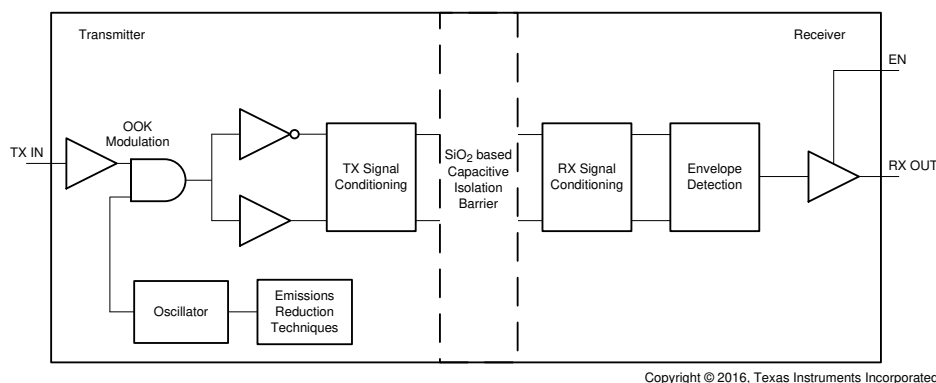


図 7-1. デジタル容量性アイソレータの概念ブロック図

また、オン オフ キーイング方式による動作の概念的な説明を[図 7-2](#) に示します。

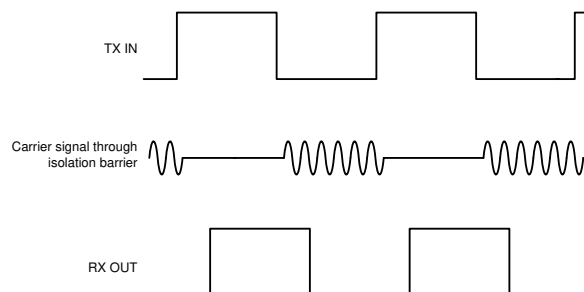


図 7-2. オン オフ キーイング (OOK) による変調方式

7.3 機能説明

ISO7820 は、2 つのチャネル構成とデフォルトの出力状態オプションで利用でき、さまざまなアプリケーション用途に使用できます。

製品名	チャネル方向	絶縁定格	最大データレート	デフォルト出力
ISO7820	2 つの順方向、逆方向なし	5700V _{RMS} / 8000V _{PK} ⁽¹⁾	100Mbps	High
ISO7820F	2 つの順方向、逆方向なし	5700V _{RMS} / 8000V _{PK} ⁽¹⁾	100Mbps	Low

(1) 絶縁定格の詳細については、「[規制情報](#)」の表を参照してください。

7.4 デバイスの機能モード

表 7-1 に ISO7820 の機能モードを示します。

表 7-1. ISO7820 の機能表

V_{CCI}	V_{CCO}	入力 (INx) ⁽²⁾	出力イネーブル (EN2) (DWW パッケージのみ)	出力 (OUTx)	備考
PU	PU	H	H または オープン	H	通常動作: チャンネルの出力は、入力の論理状態と同じになります。
		L	H または オープン	L	
		オープン	H または オープン	デフォルト	デフォルト モード: INx がオープン のとき、対応するチャンネル出力はデフォルトの高ロジック状態に移行します。デフォルト = ISO7820 に対して High、ISO7820F に対して Low です。
X	PU	X	L	Z	出力イネーブルの値が Low のとき、出力は高インピーダンスになります。
PD	PU	X	H または オープン	デフォルト	デフォルト モード: V_{CCI} に電源が供給されていないとき、チャンネル出力は選択されたデフォルト オプションに基づいたロジック状態になります。デフォルト = ISO7820 に対して High、ISO7820F に対して Low です。 V_{CCI} が電源オフから電源オンに遷移すると、チャンネル出力は入力のロジック状態と同じになります。 V_{CCI} が電源オンから電源オフに遷移すると、チャンネル出力は選択されているデフォルト状態になります。
X	PD	X	X	不定	V_{CCO} が電源オフのとき、チャンネルの出力は不定です ⁽¹⁾ 。 V_{CCO} が電源オフから電源オンに遷移すると、チャンネル出力は入力のロジック状態と同じになります。

(1) $1.7V < V_{CCI}, V_{CCO} < 2.25V$ のとき、出力は不定状態になります。

(2) 入力信号が強く駆動されると、内部保護ダイオードを使用してフローティング V_{CC} に弱い電力を供給し、出力が不定になる可能性があります。

7.4.1 デバイス I/O 回路図

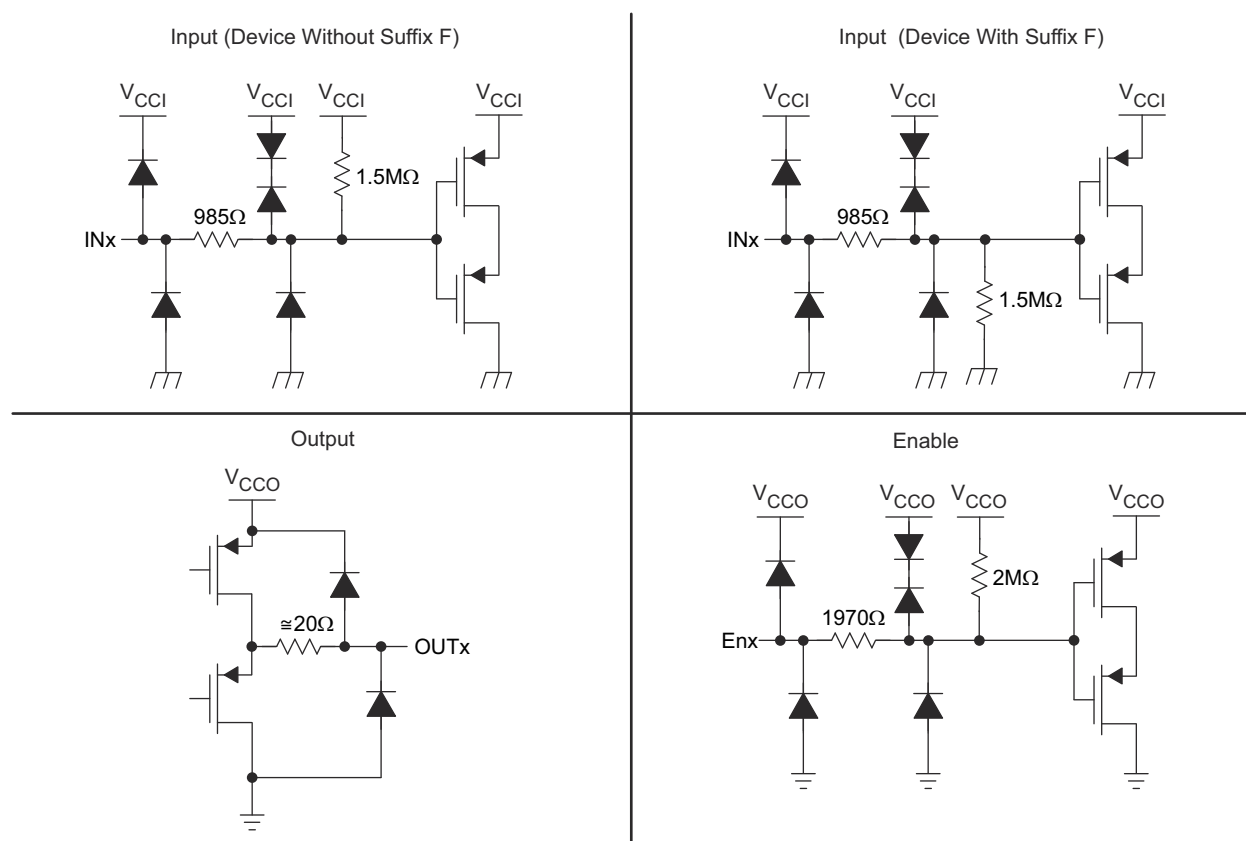


図 7-3. デバイス I/O 回路図

8 アプリケーションと実装

注

以下のアプリケーション情報は、テキサス・インスツルメンツの製品仕様に含まれるものではなく、テキサス・インスツルメンツはその正確性も完全性も保証いたしません。個々の目的に対する製品の適合性については、お客様の責任で判断していただくことになります。また、お客様は自身の設計実装を検証しテストすることで、システムの機能を確認する必要があります。

8.1 アプリケーション情報

ISO7820 は、UL 1577 に準拠した 5.7kV_{RMS} の絶縁電圧を持つ高性能デュアルチャネル デジタル アイソレータです。このデバイスは、シングル エンドの CMOS ロジック スイッチング技術を使用しています。電源電圧の範囲は、V_{CC1} と V_{CC2} の両方の電源で 2.25V～5.5V です。デジタル アイソレータを使って設計する場合は、シングルエンド設計構造のため、デジタル アイソレータが特定のインターフェイス規格に準拠していないこと、シングルエンド CMOS または TTL デジタル信号ラインの絶縁のみを目的としていることに注意してください。アイソレータは、通常、インターフェイスの種類や規格にかかわらず、データ コントローラ (μC または UART) と、データ コンバータまたはライントランシーバとの間に配置されます。

8.2 代表的なアプリケーション

ISO7820F を以下に示すようにスイッチ モード電源 (SMPS) 内の敏感なロジック回路からパワー MOSFET を絶縁できます。

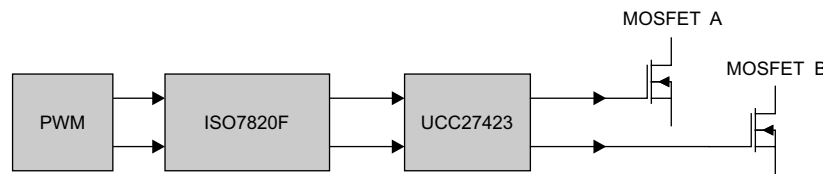


図 8-1. 絶縁型スイッチ モード電源

8.2.1 設計要件

ISO7820 では、表 8-1 に示すパラメータを使用します。

表 8-1. 設計パラメータ

パラメータ	値
電源電圧	2.25V ~ 5.5V
V _{CC1} と GND1 との間のデカップリング コンデンサ	0.1μF
V _{CC2} と GND2 との間のデカップリング コンデンサ	0.1μF

8.2.2 詳細な設計手順

ISO7820 は、フォトカプラとは異なり、性能向上、バイアス供給、電流制限のために外付け部品を必要としません。必要とするのは、動作に必要な外付けバイパスコンデンサ 2 個のみです。

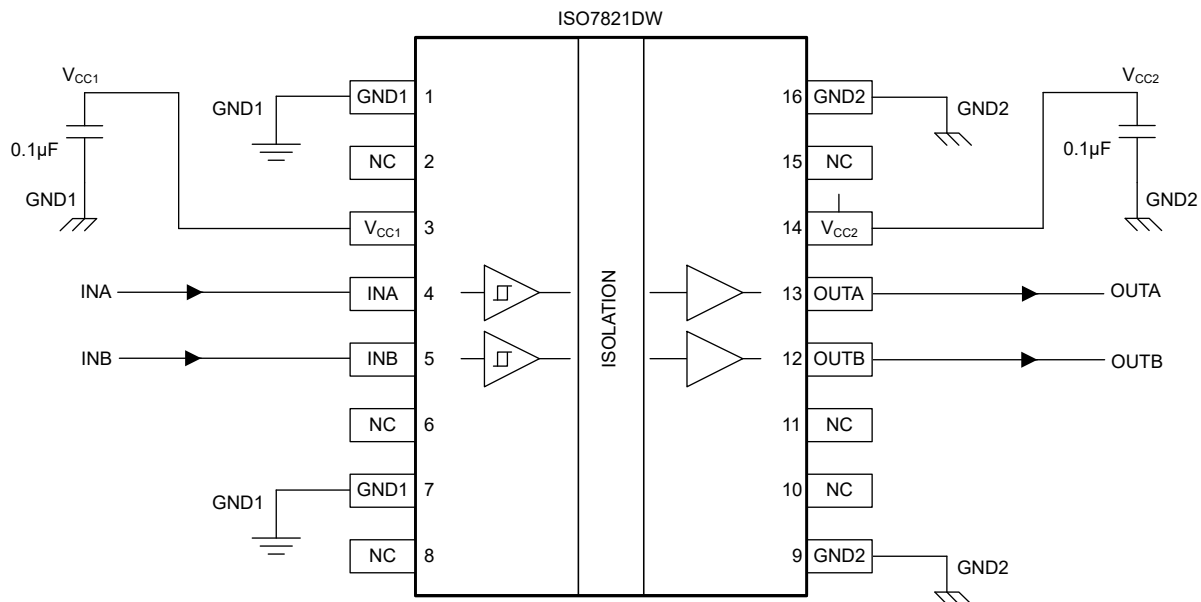


図 8-2. 標準的な ISO7820 回路のフックアップ

8.2.2.1 電磁両立性 (EMC) に関する検討事項

過酷な産業用環境で使用される多くのアプリケーションは、静電気放電 (ESD)、電気的高速過渡現象 (EFT)、サージ、電磁放射のような外乱の影響を受けやすくなっています。これらの電磁妨害は、IEC 61000-4-x および CISPR 22 などの国際規格により規制されています。システムレベルの性能と信頼性は、アプリケーション基板の設計とレイアウトに大きく左右されますが、ISO7820 は、数多くのチップレベルの設計改善を取り入れて、システム全体の堅牢性を高めています。改善項目の一部を以下に示します。

- 入出力信号ピンおよびチップ間のボンドパッドに、堅牢な ESD 保護。
- 電源ピンおよびグランドピンに、ESD セルの低抵抗接続。
- 高電圧絶縁コンデンサの性能を強化し、ESD、EFT、サージの各イベントに対する耐性を向上。
- 低インピーダンスパスを経由して不要な高エネルギー信号をバイパスする、オンチップデカップリングコンデンサの大容量化。
- ガードリングによって PMOS デバイスと NMOS デバイスを相互に絶縁し、寄生 SCR がトリガされるのを防止。
- 完全差動内部動作を確保し、絶縁バリアをまたぐコモンモード電流を低減。

8.2.3 アプリケーションの性能曲線

ISO7820 の代表的なアイ ダイアグラムは、100Mbps の最大データ レートで低ジッタと広いオープン アイを示しています。

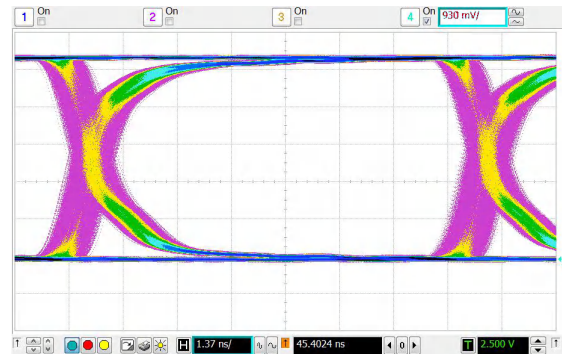


図 8-3. 100Mbps PRBS、5V、25°Cのアイ ダイアグラム

8.3 電源に関する推奨事項

すべてのデータ レートおよび電源電圧での信頼性の高い動作を提供するために、入力および出力電源ピン (V_{CC1} および V_{CC2}) に $0.1\mu\text{F}$ のバイパス コンデンサを推奨します。コンデンサは、電源ピンのできるだけ近くに配置する必要があります。アプリケーションで使用できる 1 次側電源が 1 つだけの場合は、テキサス・インスツルメンツの **SN6501** などのトランスドライバを使用して、2 次側用の絶縁型電源を生成できます。このようなアプリケーションについては、**SN6501** のデータシート (**SLLSEA0**) に、電源設計の詳細とトランスの選択に関する推奨事項が記載されています。

8.4 レイアウト

8.4.1 PCB 材料

150Mbps 未満で動作する場合 (または、立ち上がりと立ち下りの時間が 1ns を超える場合)、およびトレース長が 10 インチ (254mm) 以下の場合のデジタル回路基板には、PCB 材料として標準の **FR-4** エポキシガラスを使用します。**FR-4** (難燃性グレード 4) は、アメリカ保険業者安全試験所 (Underwriters Laboratories) の **UL94-V0** の要件を満たしており、高周波での誘電損失が低く、吸湿性が低く、強度と剛性が高く、自己消火性の燃焼特性を持つため、安価な代替品よりも好まれています。

8.4.2 レイアウトのガイドライン

低 EMI の PCB 設計を実現するには、少なくとも 4 層が必要です (図 8-4 を参照)。層の構成は、上層から下層に向かって、高速信号層、グランド プレーン、電源プレーン、低周波数信号層の順に配置する必要があります。

- 上層に高速パターンを配線することにより、ビアの使用 (およびそれに伴うインダクタンスの発生) を避けて、データリンクのトランスミッタおよびレシーバ回路とアイソレータとの間のクリーンな相互接続が可能になります。
- 高速信号層の次の層に、ベタのグランド プレーンを配置することにより、伝送ライン接続のインピーダンスを制御し、リターン電流のための優れた低インダクタンス パスを実現します。
- グランド プレーンの次の層に、電源プレーンを配置すると、高周波バイパス容量を約 100 pF/in^2 増加させることができます。
- 最下層に低速の制御信号を配線すると、これらの信号リンクには一般的に、ビアのような不連続性を許容するマージンがあるため、高い柔軟性が得られます。

電源電圧プレーンまたは信号層の追加が必要な場合は、対称性を保つために、第 2 の電源系統またはグランド プレーン系統を層構成に追加します。これにより、基板の層構成は機械的に安定し、反りを防ぎます。また、各電源系統の電源プレーンとグランド プレーンを互いに近づけて配置できるため、高周波バイパス容量を大幅に増やすことができます。

レイアウトにおける推奨事項の詳細については、アプリケーション ノート **SLLA284**、『デジタル アイソレータ設計ガイド』を参照してください。

8.4.3 レイアウト例

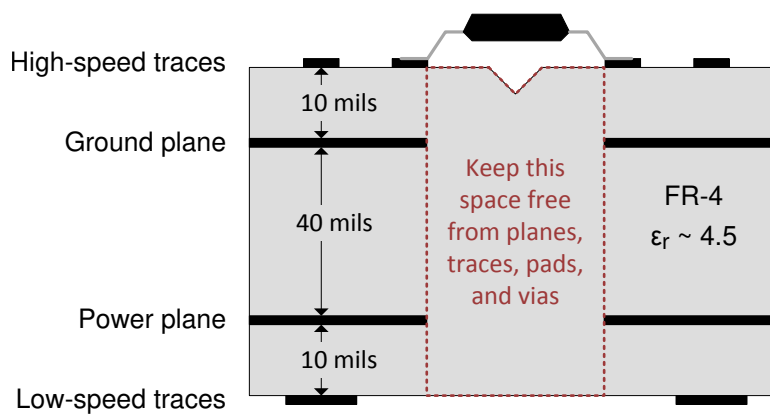


図 8-4. レイアウト例

9 デバイスおよびドキュメントのサポート

9.1 関連資料

9.1.1 関連資料

「絶縁の用語集」(SLLA353)を参照してください

9.2 ドキュメントの更新通知を受け取る方法

ドキュメントの更新についての通知を受け取るには、www.tij.co.jp のデバイス製品フォルダを開いてください。[通知] をクリックして登録すると、変更されたすべての製品情報に関するダイジェストを毎週受け取ることができます。変更の詳細については、改訂されたドキュメントに含まれている改訂履歴をご覧ください。

9.3 サポート・リソース

テキサス・インスツルメンツ E2E™ サポート・フォーラムは、エンジニアが検証済みの回答と設計に関するヒントをエキスパートから迅速かつ直接得ることができる場所です。既存の回答を検索したり、独自の質問をしたりすることで、設計に必要な支援を迅速に得ることができます。

リンクされているコンテンツは、各寄稿者により「現状のまま」提供されるものです。これらはテキサス・インスツルメンツの仕様を構成するものではなく、必ずしもテキサス・インスツルメンツの見解を反映したものではありません。テキサス・インスツルメンツの[使用条件](#)を参照してください。

9.4 商標

テキサス・インスツルメンツ E2E™ is a trademark of Texas Instruments.

すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

9.5 静電気放電に関する注意事項



この IC は、ESD によって破損する可能性があります。テキサス・インスツルメンツは、IC を取り扱う際には常に適切な注意を払うことを推奨します。正しい取り扱いおよび設置手順に従わない場合、デバイスを破損するおそれがあります。

ESD による破損は、わずかな性能低下からデバイスの完全な故障まで多岐にわたります。精密な IC の場合、パラメータがわずかに変化するだけで公表されている仕様から外れる可能性があるため、破損が発生しやすくなっています。

9.6 用語集

[テキサス・インスツルメンツ用語集](#) この用語集には、用語や略語の一覧および定義が記載されています。

10 改訂履歴

資料番号末尾の英字は改訂を表しています。その改訂履歴は英語版に準じています。

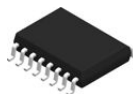
Changes from Revision A (February 2016) to Revision B (July 2025)	Page
ドキュメント全体にわたって表、図、相互参照の採番方法を更新.....	1
セクション 5.1 の表に注 (3) を追加.....	5
セクション 5.3 の表の注 (1) を変更.....	5
セクション 5.5 の表を追加.....	6
「絶縁仕様」の表を変更.....	7
「絶縁仕様」の表に 15mm (標準値) 沿面距離/空間距離を追加.....	7
表 7-1 の注 (1) を変更.....	20

Changes from Revision * (July 2015) to Revision A (February 2016)	Page
セクション 1 の安全および規制の認定リストを変更.....	1
セクション 1 を以下のように変更:「8000V _{PK} V _{IOTM} および 2121V _{PK} V _{IORM} の強化」から「8000V _{PK} の強化...」に変更.....	1

• セクション 1 に「EN 61010-1 および EN 60950-1 準拠の TUV 認証」を追加.....	1
• パッケージを追加:「製品情報」表に超幅広 SOIC、DWW (16) を追加.....	1
• 「概要」セクションの第 1 段落のテキストを以下のように変更:「VDE、CSA、CQC に準拠した認証」から「VDE、CSA、CQC、TUV に準拠した認証」に変更。.....	1
• 概略回路図を変更.....	1
• DWW ピン配置図を追加.....	3
• 以下のように変更:V _{CCX} から:V _{CCO} (セクション 5.3 の表の I _{OH} および I _{OL}).....	5
• 以下のように変更:V _{CCX} から:V _{CCI} (セクション 5.3 の表の V _{IH} および V _{IL}).....	5
• DWW パッケージを セクション 5.4 に追加.....	6
• 表 1 を変更、DWW パッケージ情報を追加.....	7
• 「電気的特性」セクションに注 1 を追加.....	7
• 表 2 に「耐候性カテゴリ」を追加し、注 1 を削除.....	7
• 「安全関連認証」の CSA 列を変更.....	8
• 「安全関連認証」セクションと表 4 に TUV を追加。表 4 の注 1 を削除.....	8
• DWW パッケージ情報が含まれるようにセクション 5.9 の「電源電流」セクションを変更.....	10
• セクション 5.9 から注 1 を削除.....	10
• DWW パッケージ情報が含まれるようにセクション 5.10 の「電源電流」セクションを変更.....	10
• セクション 5.10 から注 1 を削除.....	10
• DWW パッケージ情報が含まれるようにセクション 5.11 の「電源電流」セクションを変更.....	12
• セクション 5.11 から注 1 を削除.....	12
• 「チャネル間の出力スキュー時間」をセクション 5.13 に追加.....	13
• 「チャネル間の出力スキュー時間」をセクション 5.14 に追加.....	13
• 「チャネル間の出力スキュー時間」をセクション 5.15 に追加.....	14
• 表 7-1 を変更。.....	20
• 図 7-3 を変更。.....	20
• セクション 8.2 のテキストと図 8-1 を変更.....	21

11 メカニカル、パッケージ、および注文情報

以降のページには、メカニカル、パッケージ、および注文に関する情報が記載されています。この情報は、指定のデバイスに使用できる最新のデータです。このデータは、予告なく、このドキュメントを改訂せずに変更される場合があります。本データシートのブラウザ版を使用されている場合は、画面左側の説明をご覧ください。

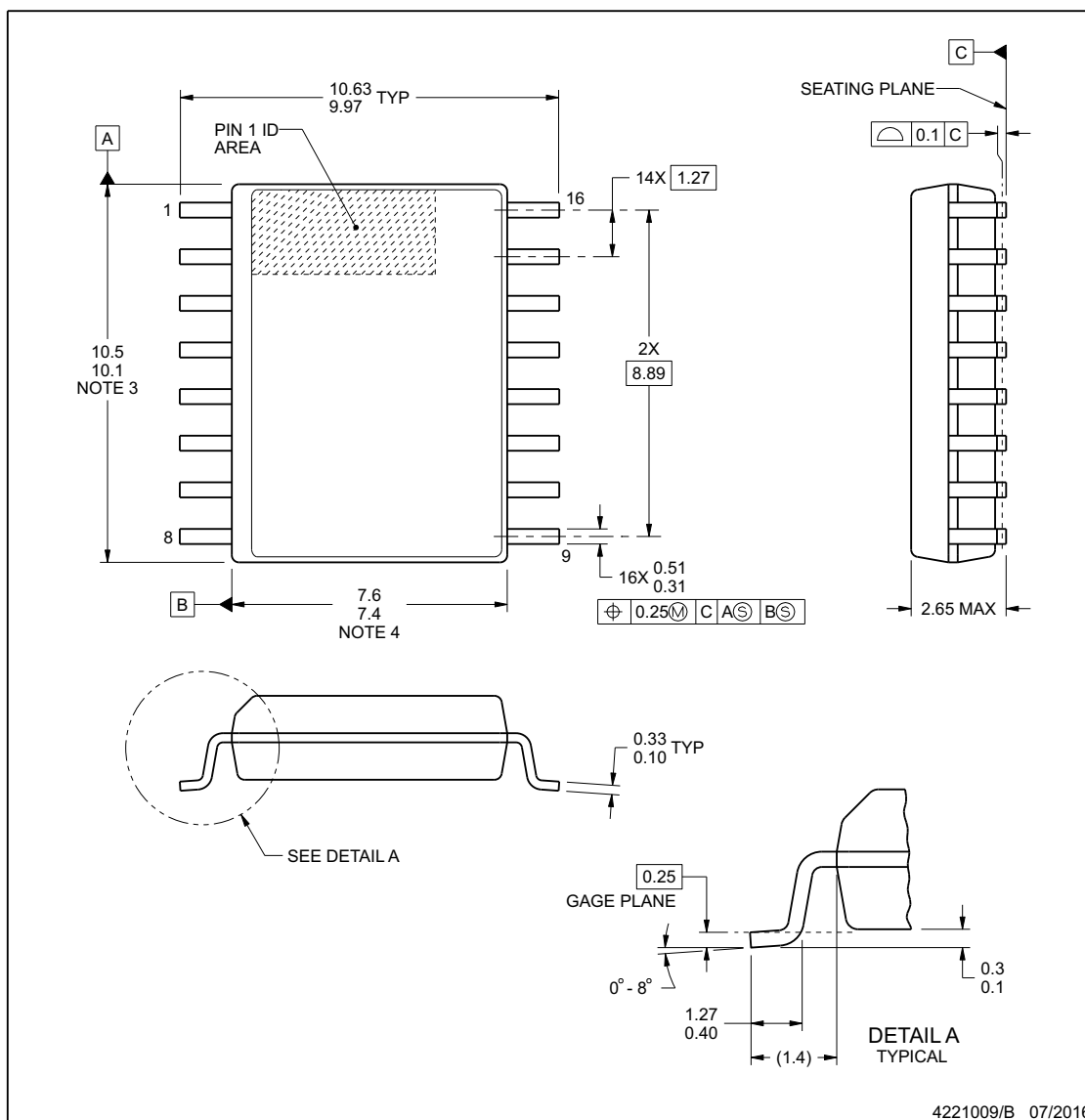


PACKAGE OUTLINE

DW0016B

SOIC - 2.65 mm max height

SOIC

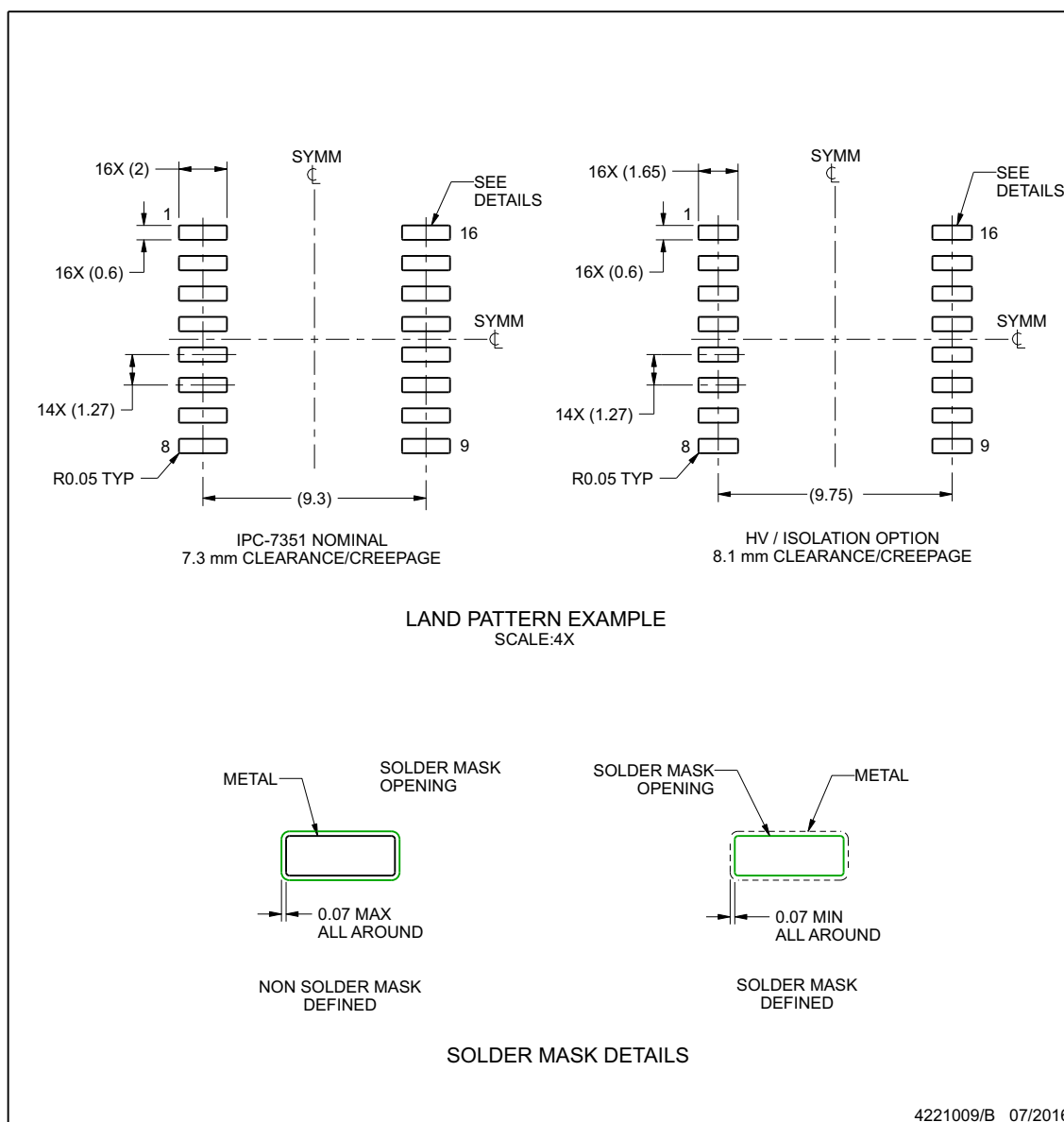


NOTES:

1. All linear dimensions are in millimeters. Dimensions in parenthesis are for reference only. Dimensioning and tolerancing per ASME Y14.5M.
2. This drawing is subject to change without notice.
3. This dimension does not include mold flash, protrusions, or gate burrs. Mold flash, protrusions, or gate burrs shall not exceed 0.15 mm, per side.
4. This dimension does not include interlead flash. Interlead flash shall not exceed 0.25 mm, per side.
5. Reference JEDEC registration MS-013.

EXAMPLE BOARD LAYOUT**DW0016B****SOIC - 2.65 mm max height**

SOIC



NOTES: (continued)

6. Publication IPC-7351 may have alternate designs.

7. Solder mask tolerances between and around signal pads can vary based on board fabrication site.

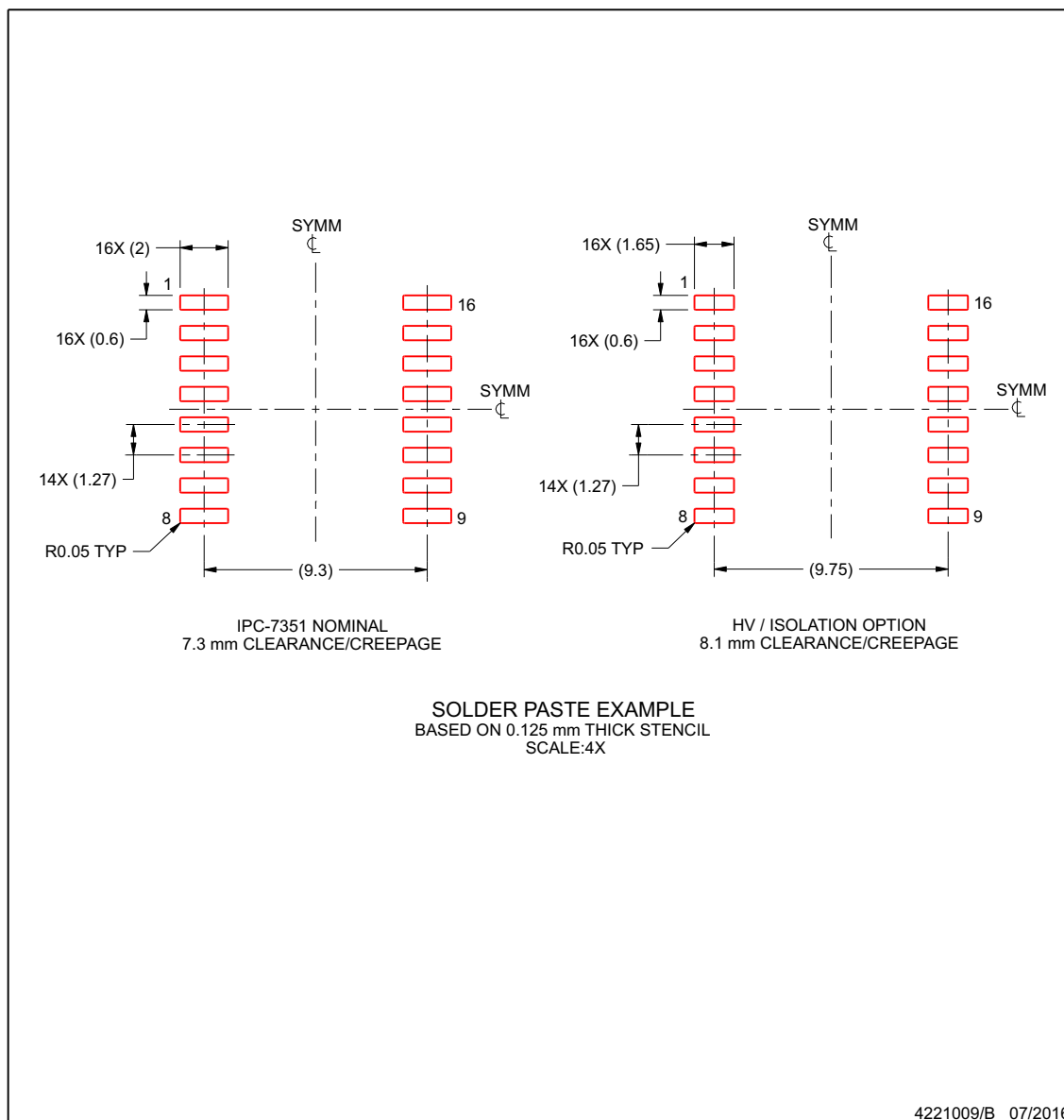
www.ti.com

EXAMPLE STENCIL DESIGN

DW0016B

SOIC - 2.65 mm max height

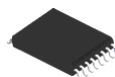
SOIC



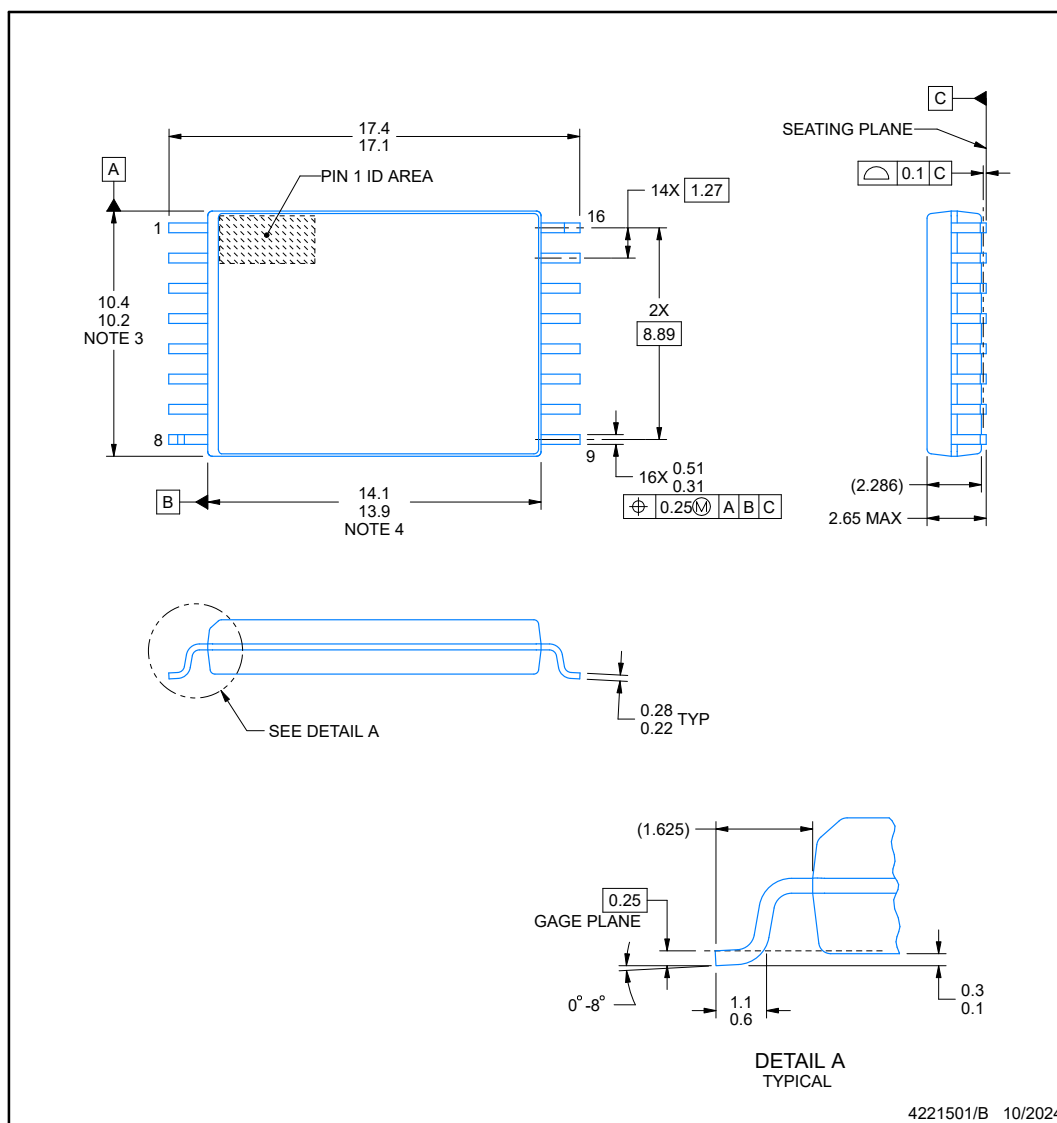
NOTES: (continued)

8. Laser cutting apertures with trapezoidal walls and rounded corners may offer better paste release. IPC-7525 may have alternate design recommendations.
9. Board assembly site may have different recommendations for stencil design.

www.ti.com

**DWW0016A**
PACKAGE OUTLINE
SOIC - 2.65 mm max height

PLASTIC SMALL OUTLINE

**NOTES:**

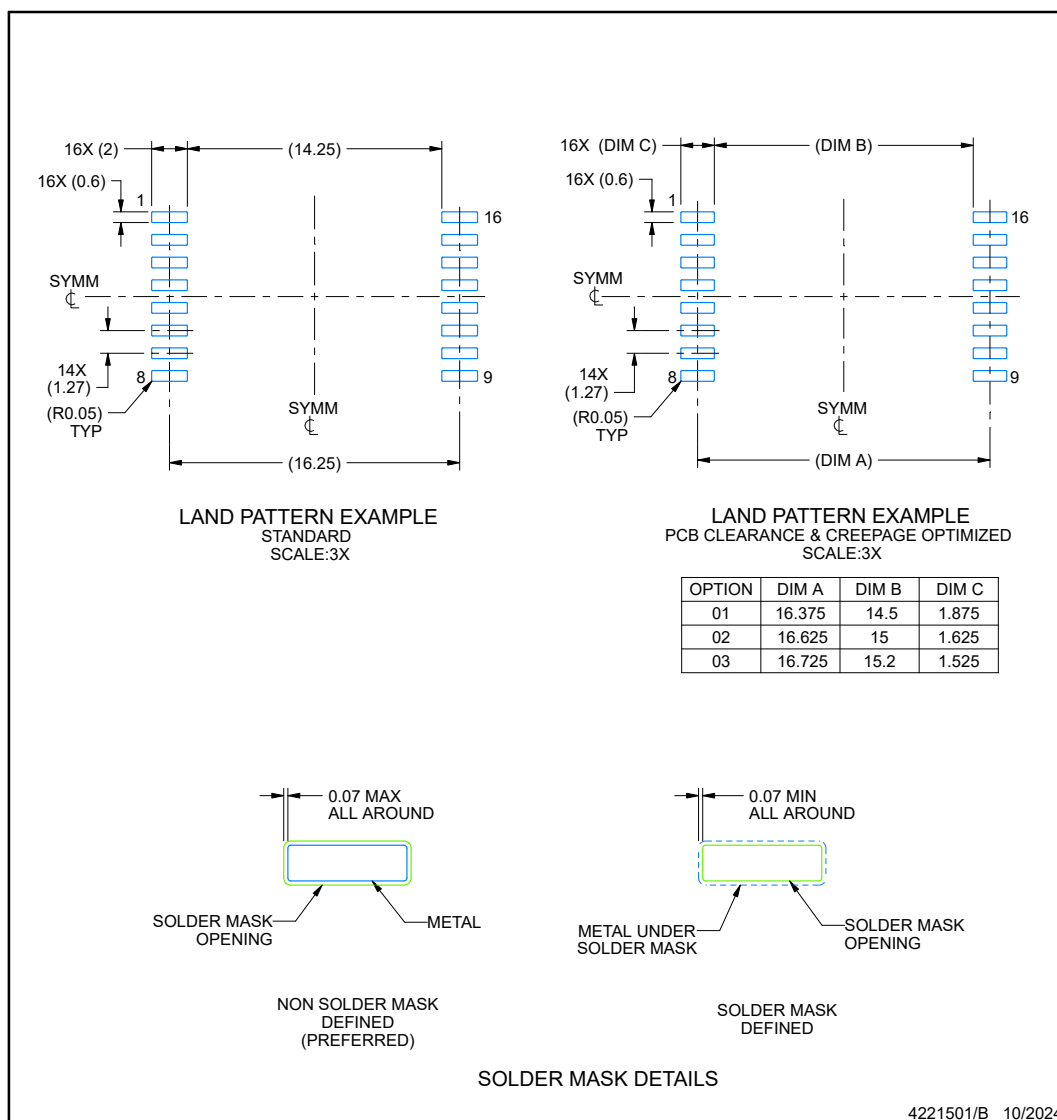
1. All linear dimensions are in millimeters. Any dimensions in parenthesis are for reference only. Dimensioning and tolerancing per ASME Y14.5M.
2. This drawing is subject to change without notice.
3. This dimension does not include mold flash, protrusions, or gate burrs. Mold flash, protrusions, or gate burrs shall not exceed 0.15 mm per side.
4. This dimension does not include interlead flash.

EXAMPLE BOARD LAYOUT

DWW0016A

SOIC - 2.65 mm max height

PLASTIC SMALL OUTLINE

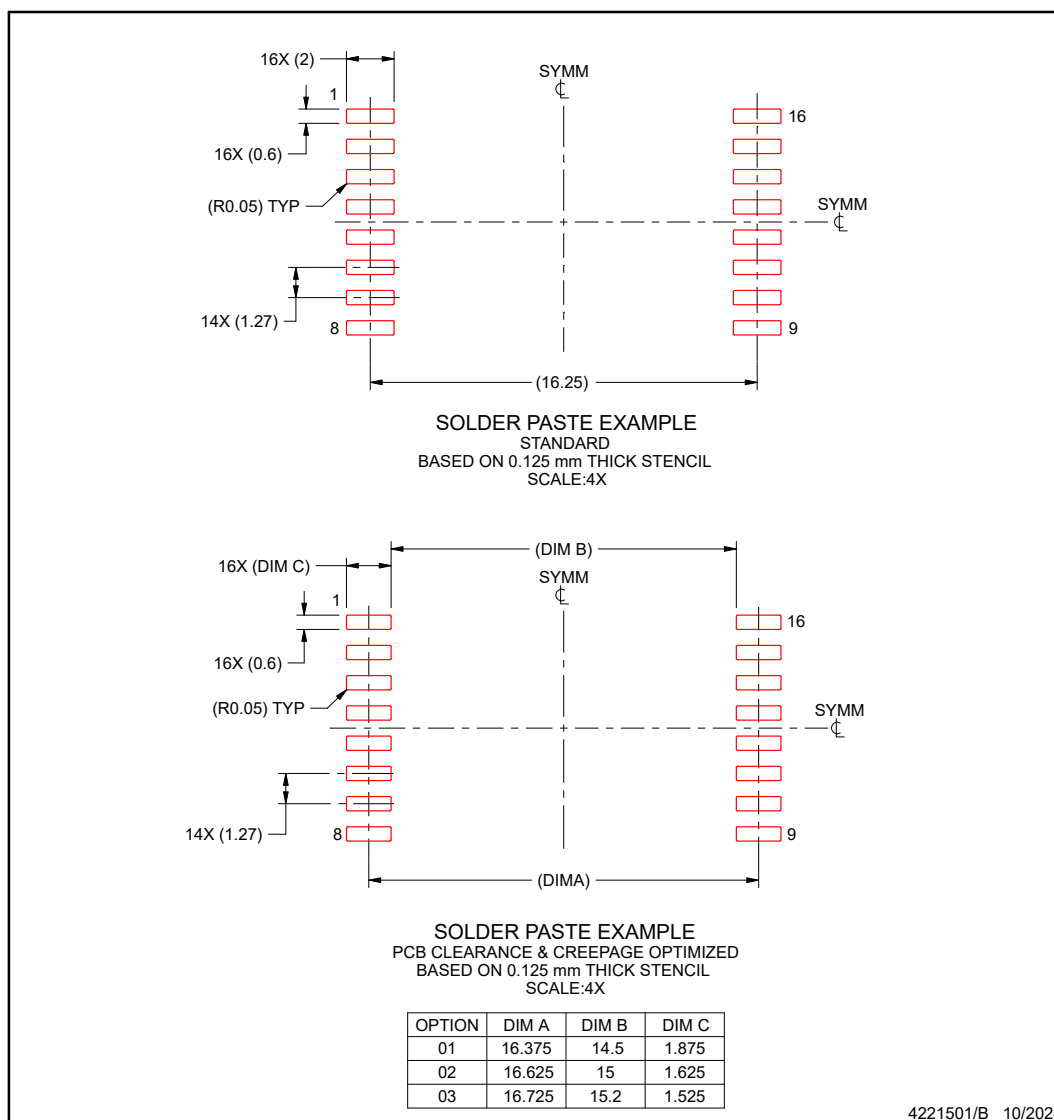


NOTES: (continued)

5. Publication IPC-7351 may have alternate designs.
6. Solder mask tolerances between and around signal pads can vary based on board fabrication site.

EXAMPLE STENCIL DESIGN**DWW0016A****SOIC - 2.65 mm max height**

PLASTIC SMALL OUTLINE



4221501/B 10/2024

NOTES: (continued)

7. Laser cutting apertures with trapezoidal walls and rounded corners may offer better paste release. IPC-7525 may have alternate design recommendations.
8. Board assembly site may have different recommendations for stencil design.

重要なお知らせと免責事項

テキサス・インスツルメンツは、技術データと信頼性データ (データシートを含みます)、設計リソース (リファレンス デザインを含みます)、アプリケーションや設計に関する各種アドバイス、Web ツール、安全性情報、その他のリソースを、欠陥が存在する可能性のある「現状のまま」提供しており、商品性および特定目的に対する適合性の黙示保証、第三者の知的財産権の非侵害保証を含むいかなる保証も、明示的または黙示的にかかわらず拒否します。

これらのリソースは、テキサス・インスツルメンツ製品を使用する設計の経験を積んだ開発者への提供を意図したものです。(1) お客様のアプリケーションに適した テキサス・インスツルメンツ製品の選定、(2) お客様のアプリケーションの設計、検証、試験、(3) お客様のアプリケーションに該当する各種規格や、その他のあらゆる安全性、セキュリティ、規制、または他の要件への確実な適合に関する責任を、お客様のみが単独で負うものとします。

上記の各種リソースは、予告なく変更される可能性があります。これらのリソースは、リソースで説明されている テキサス・インスツルメンツ製品を使用するアプリケーションの開発の目的でのみ、テキサス・インスツルメンツはその使用をお客様に許諾します。これらのリソースに関して、他の目的で複製することや掲載することは禁止されています。テキサス・インスツルメンツや第三者の知的財産権のライセンスが付与されている訳ではありません。お客様は、これらのリソースを自身で使用した結果発生するあらゆる申し立て、損害、費用、損失、責任について、テキサス・インスツルメンツおよびその代理人を完全に補償するものとし、テキサス・インスツルメンツは一切の責任を拒否します。

テキサス・インスツルメンツの製品は、[テキサス・インスツルメンツの販売条件](#)、または [ti.com](https://www.ti.com) やかかる テキサス・インスツルメンツ製品の関連資料などのいずれかを通じて提供する適用可能な条項の下で提供されています。テキサス・インスツルメンツがこれらのリソースを提供することは、適用されるテキサス・インスツルメンツの保証または他の保証の放棄の拡大や変更を意味するものではありません。

お客様がいかなる追加条項または代替条項を提案した場合でも、テキサス・インスツルメンツはそれらに異議を唱え、拒否します。

郵送先住所: Texas Instruments, Post Office Box 655303, Dallas, Texas 75265
Copyright © 2025, Texas Instruments Incorporated

PACKAGING INFORMATION

Orderable part number	Status (1)	Material type (2)	Package Pins	Package qty Carrier	RoHS (3)	Lead finish/ Ball material (4)	MSL rating/ Peak reflow (5)	Op temp (°C)	Part marking (6)
ISO7820DW	Active	Production	SOIC (DW) 16	40 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DW.A	Active	Production	SOIC (DW) 16	40 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DW.B	Active	Production	SOIC (DW) 16	40 TUBE	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	
ISO7820DWR	Active	Production	SOIC (DW) 16	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DWR.A	Active	Production	SOIC (DW) 16	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DWR.B	Active	Production	SOIC (DW) 16	2000 LARGE T&R	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	
ISO7820DWW	Active	Production	SOIC (DWW) 16	45 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DWW.A	Active	Production	SOIC (DWW) 16	45 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DWW.B	Active	Production	SOIC (DWW) 16	45 TUBE	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	
ISO7820DWR	Active	Production	SOIC (DWW) 16	1000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DWR.A	Active	Production	SOIC (DWW) 16	1000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820
ISO7820DWR.B	Active	Production	SOIC (DWW) 16	1000 LARGE T&R	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	
ISO7820FDW	Active	Production	SOIC (DW) 16	40 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDW.A	Active	Production	SOIC (DW) 16	40 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDW.B	Active	Production	SOIC (DW) 16	40 TUBE	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	
ISO7820FDWR	Active	Production	SOIC (DW) 16	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDWR.A	Active	Production	SOIC (DW) 16	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-2-260C-1 YEAR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDWR.B	Active	Production	SOIC (DW) 16	2000 LARGE T&R	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	
ISO7820FDWW	Active	Production	SOIC (DWW) 16	45 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDWW.A	Active	Production	SOIC (DWW) 16	45 TUBE	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDWW.B	Active	Production	SOIC (DWW) 16	45 TUBE	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	
ISO7820FDWR	Active	Production	SOIC (DWW) 16	1000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDWR.A	Active	Production	SOIC (DWW) 16	1000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-3-260C-168 HR	-55 to 125	ISO7820F
ISO7820FDWR.B	Active	Production	SOIC (DWW) 16	1000 LARGE T&R	-	Call TI	Call TI	-55 to 125	

⁽¹⁾ **Status:** For more details on status, see our [product life cycle](#).

⁽²⁾ **Material type:** When designated, preproduction parts are prototypes/experimental devices, and are not yet approved or released for full production. Testing and final process, including without limitation quality assurance, reliability performance testing, and/or process qualification, may not yet be complete, and this item is subject to further changes or possible discontinuation. If available for ordering, purchases will be subject to an additional waiver at checkout, and are intended for early internal evaluation purposes only. These items are sold without warranties of any kind.

⁽³⁾ **RoHS values:** Yes, No, RoHS Exempt. See the [TI RoHS Statement](#) for additional information and value definition.

⁽⁴⁾ **Lead finish/Ball material:** Parts may have multiple material finish options. Finish options are separated by a vertical ruled line. Lead finish/Ball material values may wrap to two lines if the finish value exceeds the maximum column width.

⁽⁵⁾ **MSL rating/Peak reflow:** The moisture sensitivity level ratings and peak solder (reflow) temperatures. In the event that a part has multiple moisture sensitivity ratings, only the lowest level per JEDEC standards is shown. Refer to the shipping label for the actual reflow temperature that will be used to mount the part to the printed circuit board.

⁽⁶⁾ **Part marking:** There may be an additional marking, which relates to the logo, the lot trace code information, or the environmental category of the part.

Multiple part markings will be inside parentheses. Only one part marking contained in parentheses and separated by a "~" will appear on a part. If a line is indented then it is a continuation of the previous line and the two combined represent the entire part marking for that device.

Important Information and Disclaimer:The information provided on this page represents TI's knowledge and belief as of the date that it is provided. TI bases its knowledge and belief on information provided by third parties, and makes no representation or warranty as to the accuracy of such information. Efforts are underway to better integrate information from third parties. TI has taken and continues to take reasonable steps to provide representative and accurate information but may not have conducted destructive testing or chemical analysis on incoming materials and chemicals. TI and TI suppliers consider certain information to be proprietary, and thus CAS numbers and other limited information may not be available for release.

In no event shall TI's liability arising out of such information exceed the total purchase price of the TI part(s) at issue in this document sold by TI to Customer on an annual basis.

TAPE AND REEL INFORMATION



*All dimensions are nominal

Device	Package Type	Package Drawing	Pins	SPQ	Reel Diameter (mm)	Reel Width W1 (mm)	A0 (mm)	B0 (mm)	K0 (mm)	P1 (mm)	W (mm)	Pin1 Quadrant
ISO7820DWR	SOIC	DW	16	2000	330.0	16.4	10.75	10.7	2.7	12.0	16.0	Q1
ISO7820DWWR	SOIC	DWW	16	1000	330.0	24.4	18.0	10.0	3.0	20.0	24.0	Q1
ISO7820FDWR	SOIC	DW	16	2000	330.0	16.4	10.75	10.7	2.7	12.0	16.0	Q1
ISO7820FDWWR	SOIC	DWW	16	1000	330.0	24.4	18.0	10.0	3.0	20.0	24.0	Q1

TAPE AND REEL BOX DIMENSIONS



*All dimensions are nominal

Device	Package Type	Package Drawing	Pins	SPQ	Length (mm)	Width (mm)	Height (mm)
ISO7820DWR	SOIC	DW	16	2000	350.0	350.0	43.0
ISO7820DWWR	SOIC	DWW	16	1000	350.0	350.0	43.0
ISO7820FDWR	SOIC	DW	16	2000	350.0	350.0	43.0
ISO7820FDWWR	SOIC	DWW	16	1000	350.0	350.0	43.0

TUBE



*All dimensions are nominal

Device	Package Name	Package Type	Pins	SPQ	L (mm)	W (mm)	T (μm)	B (mm)
ISO7820DW	DW	SOIC	16	40	506.98	12.7	4826	6.6
ISO7820DW.A	DW	SOIC	16	40	506.98	12.7	4826	6.6
ISO7820DWW	DWW	SOIC	16	45	507	20	5000	9
ISO7820DWW.A	DWW	SOIC	16	45	507	20	5000	9
ISO7820FDW	DW	SOIC	16	40	506.98	12.7	4826	6.6
ISO7820FDW.A	DW	SOIC	16	40	506.98	12.7	4826	6.6
ISO7820FDWW	DWW	SOIC	16	45	507	20	5000	9
ISO7820FDWW.A	DWW	SOIC	16	45	507	20	5000	9

重要なお知らせと免責事項

TI は、技術データと信頼性データ (データシートを含みます)、設計リソース (リファレンス デザインを含みます)、アプリケーションや設計に関する各種アドバイス、Web ツール、安全性情報、その他のリソースを、欠陥が存在する可能性のある「現状のまま」提供しており、商品性および特定目的に対する適合性の黙示保証、第三者の知的財産権の非侵害保証を含むいかなる保証も、明示的または黙示的にかかわらず拒否します。

これらのリソースは、TI 製品を使用する設計の経験を積んだ開発者への提供を意図したものです。(1) お客様のアプリケーションに適した TI 製品の選定、(2) お客様のアプリケーションの設計、検証、試験、(3) お客様のアプリケーションに該当する各種規格や、その他のあらゆる安全性、セキュリティ、規制、または他の要件への確実な適合に関する責任を、お客様のみが単独で負うものとし、TI は一切の責任を拒否します。

上記の各種リソースは、予告なく変更される可能性があります。これらのリソースは、リソースで説明されている TI 製品を使用するアプリケーションの開発の目的でのみ、TI はその使用をお客様に許諾します。これらのリソースに関して、他の目的で複製することや掲載することは禁止されています。TI や第三者の知的財産権のライセンスが付与されている訳ではありません。お客様は、これらのリソースを自身で使用した結果発生するあらゆる申し立て、損害、費用、損失、責任について、TI およびその代理人を完全に補償するものとし、TI は一切の責任を拒否します。

TI の製品は、[TI の販売条件](#)、[TI の総合的な品質ガイドライン](#)、[ti.com](#) または TI 製品などに関連して提供される他の適用条件に従い提供されます。TI がこれらのリソースを提供することは、適用される TI の保証または他の保証の放棄の拡大や変更を意味するものではありません。TI がカスタム、またはカスタマー仕様として明示的に指定していない限り、TI の製品は標準的なカタログに掲載される汎用機器です。

お客様がいかなる追加条項または代替条項を提案する場合も、TI はそれらに異議を唱え、拒否します。

Copyright © 2025, Texas Instruments Incorporated

最終更新日：2025 年 10 月